紀美野町第3回定例会会議録

平成27年9月18日（金曜日）

○議事日程（第3号）

平成27年9月18日（金）午前9時00分開議

- 第 1 議案第76号 紀美野町職員再任用条例の一部を改正する条例について
- 第 2 議案第77号 紀美野町手数料条例の一部を改正する条例について
- 第 3 議案第78号 紀美野町立学校設置条例及び紀美野町立学校施設開放条例の一部を改正する条例について
- 第 4 議案第79号 和歌山県市町村総合事務組合規約の変更について
- 第 5 議案第80号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 第 6 議案第81号 平成27年度紀美野町一般会計補正予算（第2号）について
- 第 7 議案第82号 平成27年度紀美野町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について
- 第 8 議案第83号 平成27年度紀美野町上水道事業会計補正予算（第1号）について
- 第 9 議案第64号 平成26年度紀美野町一般会計歳入歳出決算の認定について
- 第10 議案第65号 平成26年度紀美野町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第11 議案第66号 平成26年度紀美野町国民健康保険診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第12 議案第67号 平成26年度紀美野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第13 議案第68号 平成26年度紀美野町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第14 議案第69号 平成26年度紀美野町のかみふれあい公園運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第15 議案第70号 平成26年度紀美野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第16 議案第71号 平成26年度紀美野町野上簡易水道事業特別会計歳入歳出決算

の認定について

第17 議案第72号 平成26年度紀美野町美里簡易水道事業特別会計歳入歳出決算
の認定について

第18 議案第73号 平成26年度紀美野町上水道事業会計利益剰余金の処分及び決
算の認定について

第19 議員派遣の件について

第20 閉会中の継続調査の申し出について（総務文教常任委員会）

第21 閉会中の継続調査の申し出について（産業建設常任委員会）

第22 閉会中の継続調査の申し出について（議会運営委員会）

○会議に付した事件

日程第1から日程第9まで

○議員定数 12名

○出席議員

議席番号	氏名
1番	南 昭和 君
2番	上 柏 皖 亮 君
3番	七良浴 光 君
4番	町 田 富枝子 君
5番	田 代 哲 郎 君
6番	西 口 優 君
7番	北 道 勝 彦 君
8番	向井中 洋 二 君
9番	伊 都 堅 仁 君
10番	美 野 勝 男 君
11番	美 濃 良 和 君
12番	小 椋 孝 一 君

○欠席議員

な し

○説明のため出席したもの

職 名	氏 名
町 長	寺 本 光 嘉 君
副 町 長	小 川 裕 康 君
教 育 長	橋 戸 常 年 君
消 防 長	家 本 宏 君
総 務 課 長	牛 居 秀 行 君
企 画 管 財 課 長	中 谷 嘉 夫 君
住 民 課 長	増 谷 守 哉 君
税 務 課 長	西 岡 秀 育 君
保 健 福 祉 課 長	宮 阪 学 君
産 業 課 長	大 窪 茂 男 君
建 設 課 長	井 村 本 彦 君
総 務 学 事 課 長 兼 教 育 次 長	前 田 勇 人 君
生 涯 学 習 課 長	岩 田 貞 二 君
会 計 管 理 者	西 切 博 充 君
水 道 課 長	田 中 克 治 君
美 里 支 所 長	西 敏 明 君
ま ち づ くり 課 長	西 岡 靖 倫 君
国 体 推 進 課 長	南 秀 秋 君
代 表 監 査 委 員	向 江 信 夫 君

○欠席したもの

な し

○出席事務局職員

事 務 局 長 大 東 淳 悟 君

書 記 中 谷 典 代 君

開 議

○議長（小椋孝一君） 15日の会議に引き続き、本日の会議を開きます。
(午前 9時00分)

○議長（小椋孝一君） 本日の日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎日程第1 議案第76号 紀美野町職員再任用条例の一部を改正する条例について

○議長（小椋孝一君） 日程第1、議案第76号、紀美野町職員再任用条例の一部を改正する条例について、議題とします。

これから質疑を行います。

11番、美濃良和君。

(11番 美濃良和君 登壇)

○11番（美濃良和君） それでは、若干確認をさせていただきたいと思います。
ここで、紀美野町職員再任用条例の一部を次のとおり改正したいということでございまして、今回、決算の委員会を本会議でやるということなんで、大変時間的にいっぱい、なかなかよう回ってないので、えらい申しわけございませんけども、さきの説明で27年10月1日から実施されるということと、それから、36ページの附則の次の1項を加えるの3にあるように、特定警察職員等に該当する消防吏員である者に対する次の表の左段に掲げる機関におけるということで、消防吏員に関する部分があるかというふうに思うのと、それから一般職員に対して、これによって何ら不利になるようなところはないのかどうか、そこのところをお聞かせいただきたいと思います。

(11番 美濃良和君 降壇)

○議長（小椋孝一君） 総務課長、牛居君。

(総務課長 牛居秀行君 登壇)

○総務課長（牛居秀行君） 美濃良和議員の御質疑にお答えをいたしたいと思いません。

一般職員に対して不利になることがないのかというお尋ねでございますが、一般職員に関しまして不利になるようなことはございません。まず、この再任用条例につきましては、60歳で定年退職した職員について、無収入期間が発生しないようにと、雇用と年金の接続が図られる必要性がありますので、そのために当面、定年退職する職員が支給年齢開始に達するまでの間、再任用を希望する方については再任用するとしたところ

でございます。

それから、今回この消防職員を加えてございます。これにつきましては、先日も御説明申し上げましたけども、今回の条例改正につきましては、被用者年金制度の一元化を図るための厚生年金保険法の一部を改正する法律が平成27年10月1日に施行されます。それに伴いまして、共済年金が厚生年金に統一されることにより、特定警察職員等の定義を定める地方公務員等共済組合法附則第18条の2第1項第1号の規定が削除されまして、同様の内容が厚生年金保険法附則第7条の3第1項第4号に新たに規定されることとなるために、この改正を行ったものでございますので、御理解を賜りたいと存じます。

(総務課長 牛居秀行君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 11番、美濃良和君。

○11番 (美濃良和君) この条文とかそうになってまいりますと、非常に言葉等がわかりにくいと。なつらと私にもわかるように説明をお願いしたいんですけども、以前、大分前でしたけども、消防吏員については退職が早いとか、そういうふうな話も聞いたように思うんですけども、そんなところについては今どうなっているのか。

要するに、今の説明でしたら、60歳で定年になって、それから65歳までの間に、要するに再任用になった場合の部分だと。その再任用でいてる分について、年金はどのようなんですか。要するに、一般的にわかりやすい言葉でお願いしたいと思います。

○議長 (小椋孝一君) 総務課長、牛居君。

○総務課長 (牛居秀行君) 美濃良和議員の再質疑にお答えを申し上げます。

ちょっと私の聞き方が悪いのかどうかわかりませんが、この被用者年金の一元化によって、年金がどうなるのかというお尋ねと受け取りましたので、その方向から御説明を申し上げます。

一般論でございますが、厚生年金に公務員及び私学職員も加入することとし、2階部分の年金は厚生年金に統一するということがまず一つございます。それと、共済年金と厚生年金の給付内容は、基本的に厚生年金にそろえるということになります。それから、共済年金の保険料を引き上げ、厚生年金の保険料、上限18.3%に統一する。それと、共済年金にある公的年金としての3階部分、これは一般に職域年金の部分と言われているところでございますが、それを廃止し、新たな公務員制度としての年金給付の制度を設けるということになってございます。

それから、消防職員は今、定年退職が早いのかというようなお尋ねがあったと思いますが、消防吏員につきましても一般職員と同じように60歳定年退職でございます。

これでよろしいでしょうか。

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。

これから議案第76号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第76号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第76号は、原案のとおり可決されました。

◎日程第2 議案第77号 紀美野町手数料条例の一部を改正する条例について

○議長（小椋孝一君） 日程第2、議案第77号、紀美野町手数料条例の一部を改正する条例について、議題とします。

これから質疑を行います。

5番、田代哲郎君。

（5番 田代哲郎君 登壇）

○5番（田代哲郎君） 通知カードと、それからマイナンバー個人番号カードを紛失した場合の再交付を受ける場合の手数料なんですけど、この町は非常に高齢化率が高いので、高齢者を中心に結構、通知カードがどこへ行ったかわからへんとか、個人カードを交付申請で交付してもらったけども紛失したという事例が多いんじゃないかと思うんですけど、その辺については担当者のほうではどういうふうに考えられてはりますか。そういう心配はないということなのかどうか。

（5番 田代哲郎君 降壇）

○議長（小椋孝一君） 住民課長、増谷君。

（住民課長 増谷守哉君 登壇）

○住民課長（増谷守哉君） 田代議員の御質疑にお答えさせていただきます。

今回の条例につきましては、マイナンバーカードと、それから通知カードの再発行の手数料の条例の改正でございます。今、田代議員から御質疑のあった、高齢者が多くてそういうカードをなくすということが多いのではないかとということでございます。私ども住民課関係で保険証とかいろいろ年金等の関係書類等、なくしたという問い合わせが一日に1件か2件あるという、大変多うございます。今回のこのカードにつきましても、免許証程度の小さいカードですので、失われる方も多々あるのかなと懸念しているところでございます。

失った場合には、住民課のほうへ来ていただいて、再交付の手続をとっていただくのですが、単に失ってしまってどこかへ行ってしまってわからないという理由に基づいた再発行というのがちょっと難しいということで、警察へ紛失届とか盗難届とか、そういう届けたという証明を持ってきていただいた上で再交付ということになります。単に失って、ないですということが多々あると、そういうことをしなければならないということになれば、また大事に持っていただくというのですか、そういう意識もつけていただくということもありますし、簡単にそういうふうに再交付をしていくという考えは持っておりません。以上です。

（住民課長 増谷守哉君 降壇）

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。

これから議案第77号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

5番、田代哲郎君。

（5番 田代哲郎君 登壇）

○5番（田代哲郎君） 先日の個人番号条例の改正のときに、いわゆる特定個人情報等の利用に関する法律に基づく、マイナンバー法に基づくものなので、こういうことが実施されると、個人のプライバシーが大きく侵害されて、それから、それがもし情報が、データとかが外へ出ていった場合は、大変な損害をこうむるということがありまし

て、その条例案には、マイナンバー法に反対しております。したがって、それに基づく条例案にも反対いたします。以上です。

(5番 田代哲郎君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 反対討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第77号を採決します、

この採決は、起立によって行います。

議案第77号は、原案のとおり決定することに賛成の方の起立を願います。

(起立多数)

○議長 (小椋孝一君) 起立多数です。

したがって、議案第77号は原案のとおり可決されました。

◎日程第3 議案第78号 紀美野町立学校設置条例及び紀美野町立学校施設開放条例の一部を改正する条例について

○議長 (小椋孝一君) 日程第3、議案第78号、紀美野町立学校設置条例及び紀美野町立学校施設開放条例の一部を改正する条例について、議題とします。

これから質疑を行います。

11番、美濃良和君。

(11番 美濃良和君 登壇)

○11番 (美濃良和君) この上神野小学校につきましては、美里町時代に残念ながら子供たちがいてたんですけど、上神野校区内におったんですが、下神野小学校に行くというふうな形の中で、残念ながら休校になってしまっておったわけですね。この学校の土地の持ち主さんと昔からの契約があって、学校施設としてならばということで無償で土地を提供してくれておったんですよ。そういうこともあって、学校を廃校にするということになった場合にとということもあったのか、ずっと休校のままで来たというふうに思うんです。まず、その部分がどうなっているのか。

それから、この上神野小学校は今後どのような形で有効活用というんですか、されていくのか。その辺のところをお聞かせいただきたいと思います。

(11番 美濃良和君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 総務学事課長、前田君。

(総務学事課長 前田勇人君 登壇)

○総務学事課長 (前田勇人君) ただいまの美濃良和議員の御質疑についてお答えをさせていただきます。

まず、地主さんとの土地に関することについて契約というのはどうなっているのかということが一つあったと思います。これにつきましては、引き続きお借りするということで御承諾をいただいております。

それから、今後どのようにして使用するのかということでございますが、これにつきましては現在のところ、上神野まちづくり協議会というのがございまして、そこに現在、学校開放条例に基づきまして使用を認めてございます。やはり学校施設ということになりますと、限られた使用しかできないというようなことがございまして、それで教育委員会から管理を町のほうに移すということで、使い勝手がいろいろとできるのではないかとということで、学校設置条例と開放条例を廃止するというものでございます。以上でございます。

(総務学事課長 前田勇人君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 11番、美濃良和君。

○11番 (美濃良和君) そうすると、学校施設開放条例というところで利用していくということで、今お聞きしたんですけれども、そうやってまいりますと、やっぱり教育関係のことになってくるんですか、それはどうなんでしょう、お聞かせいただきたいと思います。

○議長 (小椋孝一君) 総務学事課長、前田君。

○総務学事課長 (前田勇人君) ただいまの美濃良和議員の再質疑にお答えをさせていただきます。

学校の施設管理というのが教育委員会から外れますので、町の財産としてということで、使用のほうは町が管理することになります。以上でございます。

○議長 (小椋孝一君) ほかに質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長（小椋孝一君）　　これで質疑を終わります。

これから議案第78号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　これで討論を終わります。

これから議案第78号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　異議なしと認めます。

したがって、議案第78号は、原案のとおり可決されました。

◎日程第4　議案第79号　和歌山県市町村総合事務組合同規約の変更について

○議長（小椋孝一君）　　日程第4、議案第79号、和歌山県市町村総合事務組合同規約の変更について、議題とします。

これから質疑を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　これで質疑を終わります。

これから議案第79号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　これで討論を終わります。

これから議案第79号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君）　　異議なしと認めます。

したがって、議案第79号は原案のとおり可決されました。

◎日程第5　議案第80号　人権擁護委員候補者の推薦について

○議長（小椋孝一君） 日程第5、議案第80号、人権擁護委員候補者の推薦について、議題とします。

これから質疑を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。

これから議案第80号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第80号、人権擁護委員候補者の推薦の件を採決します。

この採決は、起立によって行います。

本件は、これに同意することに賛成の方は起立をお願いします。

（起立多数）

○議長（小椋孝一君） 起立多数です。

したがって、議案第80号、人権擁護委員候補者の推薦の件は同意することに決定しました。

◎日程第6 議案第81号 平成27年度紀美野町一般会計補正予算（第2号）について

○議長（小椋孝一君） 日程第6、議案第81号、平成27年度紀美野町一般会計補正予算（第2号）について、議題とします。

これから質疑を行います。

5番、田代哲郎君。

（5番 田代哲郎君 登壇）

○5番（田代哲郎君） それでは、質疑を行います。

まず、議案書の50ページ、歳入です。先ほど質疑いたしました使用料及び手数料、13款2項手数料、総務手数料ということで、通知カード再交付手数料3万円ということ。これ、条例どおりに計算したら60件分と、こうなるんですけど、個人番号カード再交付手数料2万4,000円ということで計上されています。再交付申請数の試算の統計的なのか、その根拠。なぜ、その金額になったのかお聞かせください。

それから、歳出に入ります。53ページです。53ページ2款総務費で1項総務管理費、12目防災諸費です。19節負担金補助及び交付金で自主防災組織補助金450万円の追加補正です。もう少し詳しく、内容の説明はあったんですけど、詳しくお願いします。

それから、54ページで2項戸籍住民基本台帳費、1目もそうです。7節の賃金臨時雇用で29万円の計上です。マイナンバーに係る臨時雇用という説明であったように記憶してるんですが、どんな業務を担当してもらうのか、そのあたりのことについてお願いします。

それから、3款の民生費は55ページです。2項児童福祉費、保育所費で工事請負費15節できみのこども園駐車場の整備工事ということで150万円の計上です。駐車場の拡張という説明であったというように思います。具体的に今の駐車場に何台分の駐車スペースが置けることになるのか、お願いいたします。

56ページ農林水産費です。5款4項の山村振興費です。資材費として144万8,000円で、原材料費資材144万8,000円で、18節の備品購入費で施設用備品56万7,000円ということで計上です。事業内容の具体的な説明をお願いします。

それから、6款商工費も56ページです。商工観光費で15節の工事請負費、生石高原展望台撤去工事で95万6,000円の計上ですが、どこの展望台を撤去してどうするのか、ちょっと説明をお願いします。

7款土木費は57ページです。3項道路橋梁費、1目道路橋梁維持費で工事請負費と町道補修及び舗装費生活関連工事で1,500万円の補正です。これは直してくださいというときに必要なあれなんですけども、具体的にどういう工事を想定しておられるのかをお願いします。

それから、58ページ教育費で小学校費、2目教育振興費で備品購入費として教材用備品100万円の計上です。ちょっと聞き漏らしだと思うんですけど、小川小学校にどんな備品を購入するのかを説明をお願いします。

あとは、58ページの12款諸支出費、1項基金費で財政調整基金費、25節が積立金で財政調整基金積立金4億9,597万5,000円という計上になっております。この補正が可決された場合の積み立て後の財政調整基金の残高をお願いいたします。以上です。

(5番 田代哲郎君 降壇)

○議長（小椋孝一君） 住民課長、増谷君。

（住民課長 増谷守哉君 登壇）

○住民課長（増谷守哉君） 田代議員の御質疑にお答えさせていただきたいと思
います。

50ページの13款2項1目総務手数料の通知カードの再交付の手数料、それから個人番号カードの再交付の手数料の算出と根拠ということでございます。通知カードにつきましては60件、1件当たり500円ということで3万円を計上させていただいております。それと、個人番号カードにつきましては30件、これは1件当たり800円ということで2万4,000円を計上させていただいております。

この30件、60件の根拠ということでございますが、各種データをとった上の件数でございませぬ。通知カードにつきましては、10月以降発行するという年度内6か月でございます。1か月当たり10件という検討で試算をさせていただいて60件ということをしてございます。

それから、個人番号カードにつきましては、1月からということになってございますので、年度を考えれば残り3か月ということで一月当たり10件ということで30件という算出で計上させていただいております。

それと歳出です。54ページの2款3項1目の賃金で臨時雇用29万円を計上させていただいております。これにつきましては、通知カード、それから個人番号カード関連の業務に当たっていただくということで置かせていただいております。この交付業務につきましては、本庁では住民課、それから支所では住民室のほうで担当することとなります。支所のほうはいろいろ総務関係、住民関係、税務関係等々、産業課関係の業務を一括して住民室で行ってございます。業務がいろいろ多々ございまして、このカードの交付については非常に忙しい中、取り組むということになりますので、アルバイトの方を1月から3月まで雇用させていただいて、申請書の確認とか、来ていただいた方の誘導とか、そういう業務をしていただきたいということで予算を置かせていただいております。以上、お答えとさせていただきます。

（住民課長 増谷守哉君 降壇）

○議長（小椋孝一君） 総務課長、牛居君。

（総務課長 牛居秀行君 登壇）

○総務課長（牛居秀行君） 田代議員の御質疑にお答えを申し上げます。

まず、53ページでございます。歳出で12目防災諸費の中の19節負担金補助及び交付金のところで、自主防災組織補助金450万円につきましての詳しい説明ということでございます。この補助金につきましては、自主防災組織に防災機器、防災の工具とかそういう資機材を買っていただくときの補助金として、1団体30万円を限度として補助していく、そういう制度でございます。この制度につきましては、県の補助金2分の1でございますので、組織1回しか使えないんですが、2分の1の県の補助金をいただきながら、この事業を進めるものでございます。

それと、58ページの12款諸支出金、1項1目財政調整基金費でございます。この補正が通りました後の財政調整基金の積立金の残額につきましては、15億5,216万3,000円でございます。以上でございます。

(総務課長 牛居秀行君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 保健福祉課長、宮阪君。

(保健福祉課長 宮阪 学君 登壇)

○保健福祉課長 (宮阪 学君) 田代議員の御質疑でございます。

55ページをお開きください。3款民生費、2項4目15工事請負費のきみのこども園駐車場の新しく増設する場所に何台の車が置けるかという御質疑だったと思います。194.94平米の増設で、予定は11台を予定してございます。以上、お答えいたします。

(保健福祉課長 宮阪 学君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) まちづくり課長、西岡君。

(まちづくり課長 西岡靖倫君 登壇)

○まちづくり課長 (西岡靖倫君) 田代議員の御質疑にお答えさせていただきます。

56ページの農林水産業費、山村振興費の山村振興総務費の16節の原材料費、資材費のことについて、それから、18の備品購入費の施設用備品についてでございますが、今現在活動しております、地域おこし協力隊の隊員たちが修理するというので、上神野小学校の修理における資材費でございます。現在、雨漏りとか、またフェンスが壊れているとか、水漏れ修理とかというのを隊員みずからやっていたための資材でございます。

それから、設備備品の一部としましては、施設内にあるエアコン等が壊れていますので、その修理、取りかえに伴うものでございます。

以上、田代議員の質疑のお答えとさせていただきます。

(まちづくり課長 西岡靖倫君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 産業課長、大窪君。

(産業課長 大窪茂男君 登壇)

○産業課長 (大窪茂男君) 田代議員の御質疑にお答えさせていただきます。

56ページの6款1項2目観光費、15節工事請負費の95万6,000円でございます。これにつきましては、生石高原展望台撤去工事ということで、山の家おいしと三角点ですか、頂上の間にある展望台でございます。モルタルの剥離によりまして落下のおそれがあるため撤去するものでございます。その後については、撤去のみでその後の計画はしておりません。以上、答弁といたします。

(産業課長 大窪茂男君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 建設課長、井村君。

(建設課長 井村本彦君 登壇)

○建設課長 (井村本彦君) 私から、田代議員の質疑にお答えさせていただきます。

57ページをお願いします。土木費、道路橋梁費、道路橋梁維持費の15節工事請負費の内容でございますが、去る7月16日、本町に台風11号による大雨洪水警報が出され、7月18日に解除されました。役場本庁で約236ミリ、トータルで降っており、建設関係の道路や河川等で各地域の区長や住民の皆様からの被害情報が50件ございました。このうち町単独で土砂の取り除きや倒木処理、及び町道の排水施設等の修繕を行うものでございます。

以上、簡単ですが答弁とさせていただきます。

(建設課長 井村本彦君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 総務学事課長、前田君。

(総務学事課長 前田勇人君 登壇)

○総務学事課長 (前田勇人君) 田代議員の質疑にお答えをさせていただきます。

58ページでございます。9款教育費、2項小学校費、2目教育振興費の中の備品でございます。教材用備品ということでございまして、これは小川小学校への備品でございます。地域の伝統芸能、坂本の獅子舞とかいうのがございまして、これに対する獅子舞セットと太鼓とか、こういったものとテレビ等でございます。以上でございます。

(総務学事課長 前田勇人君 降壇)

○議長（小椋孝一君） 5番、田代哲郎君。

○5番（田代哲郎君） まず、13款、50ページの使用料の手数料なんですが、先ほど、前の条例のときの説明で、紛失しても、なくなりましたといっても再交付はできないと。警察へ一旦行って、それは紛失証明というようなものが必要なんですか、再交付するのに。

それが1点と、それから歳出の53ページの防災諸費の防災組織の補助金なんですが、これは一体、具体的にどんな使い方をされるのかというのがちょっともうひとつわかりにくいんで、ケースがあれば、こういうケースがありますということで説明いただければありがたいと思います。

それから、54ページの戸籍住民基本台帳費の臨時雇用で、案内したりそういうマイナンバーに係る業務というのは今やっている日常業務をやりながら、またその分がふえるということになるんで非常に大変だと思います。また、総務課などでは事業者として町職員のマイナンバーを全部管理せんなんという問題も起こってきますので、そういう煩雑さというのはそんだけ仕事がふえたら多くなると思いますが、しかし、直接マイナンバーの運営に係る業務ではないということなんですが、できたらこういうところは正規の職員で、いわゆるそういうことに精通した正規の職員、マイナンバーの意味とかそういうことに精通した正規の職員を充てていただくわけにはいかないのか、その点をもう一度質疑いたします。

6款の商工費、56ページですけど、生石高原展望台撤去工事と、いわゆるシンボリックに今、三角点との間に、あの原っぱの中にあるシンボリックな展望台なんで、あれよう生石高原へハイキングに行くと、来た人たちが必ずや登って、あの上から見たらよく見えるとか、それから、生石高原の写真を撮るときにあれを入れて撮るとかということで、非常に高原の象徴的な、シンボルになっているように思うんですけど、撤去してあと何もしないというのは、ちょっと寂しいんじゃないかと思うんで、その辺のことについてどうなんか。あれがなくなると非常に、例えば山焼きの写真なんかもあれを入れて撮ると非常に迫力が、あの手前で燃えてるところを撮ると非常に迫力がある写真が撮れるんで、そういうことも含めて、モルタルづくりで老朽化しているというのはわかるんですけど、撤去するならするで、あと何かやっぱり考えんとあかん、考えたほうがいいんじゃないかというふうに私は思うんですが、その辺のことをまたお願いします。

教育費58ページで小川小学校に獅子舞セットですよ、説明は。要するに、獅子舞

のための獅子頭と、それからかぶるものと獅子舞に入るかぶるあれがあって、獅子舞をする人たちの衣装がありますよね。そのセットを購入するということで、100万円と結構高いんですよと思ひまして、確認させてください、その獅子舞セットを小川小学校に購入して、小川小学校の児童たちが獅子舞を習うわけですよ、その辺だけちょっと確認させてください。以上です。

○議長（小椋孝一君） 住民課長、増谷君。

○住民課長（増谷守哉君） それでは、田代議員の再質疑にお答えさせていただきます。

50ページの総務手数料のうちカードの再交付、または個人カードの再交付の手数料でございます。紛失した場合に警察へ届ける、盗難に遭った場合もちろんですが、警察へ届けて証明書ということであるんですが、これは警察へ届けますと、届けたという受け付け番号というのをいただけたと思います。それを役場のほうへ持ってきていただいて、再交付ということでさせていただけると考えてございます。

ただ、落としたり盗難に遭ったというときには、もちろん個人の番号が漏えいするという危険性がございます。そういう場合には、もちろんその番号の変更ということの手続も必要になってきますので、そういう証明できるものを持ってきていただくというのが、こちらのほうにとってもそういう事実があったということで確認しやすいということでございますので、よろしく願いいたします。

それと54ページの戸籍基本台帳費の中の賃金の臨時雇用、もちろん個人情報のかかわりというふうな、マイナンバーの制度でございます。この内容について、アルバイトの方にそういうことが漏れるというふうな業務をするのはいかがかということでございます。もちろん、私ども特に注意して考えてございます。申請に来ていただいた方の誘導とか、受付へ来られても別の申請で来られている場合と、マイナンバーカードの申請に来られている場合の並ぶ箇所がちょっと異なってきますので、そういう誘導。簡単な質問がございましたら、そのカウンターの外でお聞きするというふうな両方を考えてございますということで、そういうところには十分気をつけて業務を行っていただくということで考えてございますので、御理解を賜りたいと思います。

○議長（小椋孝一君） 総務課長、牛居君。

○総務課長（牛居秀行君） 田代議員の再質疑にお答えを申し上げます。

53ページの19節負担金補助及び交付金の中の自主防災組織の補助金でございます。

防災組織に防災の資機材を買っていただくという補助金でございまして、具体的なものはどうなのかという御質疑であったかと思えます。これにつきましては、この予算が通ったら、それぞれの自主防災組織のほうに申請をしていただいて、それぞれの自主防災組織でそれぞれのニーズがございまして、ニーズが違いますので、防災組織の中で資機材を買っていただくということになるかと思えますが、ちょっと漏れ聞いておる話でありますけれども、一部の防災組織の方がおっしゃっておったんですが、既に防災の資機材は持っているところもございまして、それを入れる倉庫を買いたいと。今後、買って行く資機材の倉庫やチェーンソーとかジャッキであるとか、リヤカーというお話もございました。スコップとかいろいろと災害のときに必要な軽い資機材になるかと思えますが、そういった資機材を買っていただくための補助金でございまして、以上でございます。

○議長（小椋孝一君） 産業課長、大窪君。

○産業課長（大窪茂男君） 田代議員の再質疑にお答えさせていただきます。

56ページ、2目観光費の工事請負費ですが、この展望台はシンボリックな展望台で、非常に写真撮るときはよいということでございまして。老朽化とともにモルタルの剥離だったということで大変危険であるということで、今回撤去ということにしてございまして。後のことにつきましては、山の家おいしの老朽化も進んでおりますし、指定管理者のほうからもいろんな要望もいただいておりますのでございまして。今後につきましては、生石高原の全体構造、一度見直していかなければと思っておりますが、県立自然公園の第1種地域に指定されてございまして、いろんな制約がございまして、それで、一つ一つ県との協議で詰めていき、全体を見直していきたいというように考えておりますので、御理解いただきたいと思えます。

○議長（小椋孝一君） 総務学事課長、前田君。

○総務学事課長（前田勇人君） 田代議員の再質疑にお答えをさせていただきます。

58ページ、9款2項2目教育振興費でございまして。小川の地域に伝わる坂本の獅子舞というのがございまして、このメンバーによりまして演技指導を受けるということで、地域の文化の伝承に寄与することによってございまして、以上でございます。

○議長（小椋孝一君） 5番、田代哲郎君。

○5番（田代哲郎君） まず、13款の使用料・手数料。手数料なんですけど、心配なのは、カードを紛失したのがわからないという、それも出てくるんじゃないかなと、

どこかで落としてるのに知らなんだとか、それは、住民課でどうこうせえということじゃないんですけども、多分、この高齢化の中でそういうひとり暮らしの場合、多少認知症があれば家族の方がちゃんと管理するでしょうけども、そうでなく一人で生活しておられる方とか、そういう番号漏れが起こる可能性はないのかなというふうに思いますので、その点はどう見ておられるのか。あると言ったからって防ぎようがないんですけど、多分出てくるんじゃないかというふうに思います。周知徹底の問題もあるんでしょうけど、その点が心配なので。

それから、総務費の53ページ、自主防災組織で倉庫を建てるというところもあるという。自主防災組織というのは消防団とは違う別のあれなんで、活動するのに、私のところもこの間、防災訓練をやったんですが、何か見てるとばらつきがあるというか、町内のいろんな組織によって。組織率というのは、今のところ何%ぐらいなのか、その点のことをお聞かせください。

マイナンバーに係る臨時雇用の件ですが、29万円の、いわゆる通知カードを送って、それを見てマイナンバーカードを申請に来る人というのは、どれぐらいあるだろうというふうに考えておられるのか。今まで、何か住基カードの例とかを参考にせんと仕方ないと思うんですけど、どこの自治体も先例があるわけじゃないので、その点、しかしどう予想しておられるのか。その点だけちょっとお願いします。

○議長（小椋孝一君） 住民課長、増谷君。

○住民課長（増谷守哉君） 田代議員の再々質疑にお答えさせていただきます。

50ページの通知カード、それから個人番号カードの再交付の関係で、高齢者の方が失ったことがわからないということで、このカードの使用状況というのは、またインターネット等でお調べしていただくようなシステムもございます。しかし、高齢者の方がコンピューターさわって調べるということは非常に難しいことと思うんですが、ただ、このカード、次の機会に使うときに物がないということが必ずわかってくることもあるかと思えます。このときには、先ほども申しましたとおり、役場のほうに来ていただいて、番号を変える等の処置をとって新しい物を持っていただくということですが、確認のしようがないということでございますので、そういうふうな対応でしていただくようお願いしたいと思います。

それと、54ページの戸籍住民基本台帳の賃金の雇用の関係で、ちょっとすいません。

○議長（小椋孝一君） しばらく休憩します。

休 憩

(午前 9時59分)

再 開

○議長（小椋孝一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午前 9時59分)

○住民課長（増谷守哉君） 申請手続の件数はどうだという御質疑であったかと思
います。住基ネットカードの交付枚数につきましては、約二百数十件ございました。人
口割でいきますと2%から3%ということで、とっていただいている方というのは非常
に少ないんですが、個人番号カードにつきましては、いろいろな用途に使えるというふ
うなことで、持っていなければ不便になるというふうな状況でありますので、何人の方
が申請に来られるというのはちょっと憶測はできないんですが、住基カードよりは非常
に多くの枚数が出ていくものと考えてございます。以上です。

○議長（小椋孝一君） 総務課長、牛居君。

○総務課長（牛居秀行君） 田代議員の再々質疑にお答え申し上げます。

自主防災組織の組織率ということのお尋ねであったかと思いますが、現在、紀美野町
内におきましては、各地域に自主防災組織を立ち上げていただいております。全部で1
8団体ございまして、100%というか、各地域にそれぞれ立ち上げていただいている
状況でございます。

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ありませんか。

6番、西口 優君。

(6番 西口 優君 登壇)

○6番（西口 優君） 田代議員からもそういう話がございましたが、53ページ
の自主防災組織補助金、450万円の部分。これ、各種資材を購入という、そういうふ
うな予定やという話やけども、前年度の決算の中で補助金が不用額になっているという。
だから、そういう中で多分前年度もそういう前提や、だから、そういう中で使われてな
かった中へなおさら違う。前年度も自主防災組織34万円の33万5,730円が予算
残高になってるという。

だから、多分そういう計画のもとにこうなってるんやと思うんやけど、多分450万
円というのは、貯金に回ったらいかんさかい、大丈夫なんかなと思ってしまうわけよ。

だから、本当に使い道が確定されてりゃ問題ない。だから、その点再度確認したいと思います。

(6番 西口 優君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 総務課長、牛居君。

(総務課長 牛居秀行君 登壇)

○総務課長 (牛居秀行君) 西口議員の御質疑にお答えをいたしたいと思います。

西口議員、御質疑の中で触れられました平成26年度の自主防災組織の補助金でございますけれども、この補助金につきましては、自主防災組織が防災訓練を行う上で、一般的にはお茶代とかそういったことの中で2万円を限度としてお支払いをしている補助金でございます。

一方、今回補正として上げさせていただいた補助金につきましては、先ほども申し上げましたように、県の防災のパワーアップ補助金というのがございまして、それが資機材を購入するのに2分の1の補助金をいただけるわけでありまして、我々も自主防災組織の会議がございますので、そこでいろいろとアンケートもいただきながら進めております。これにつきましては30万円を限度としてございまして、例えば一つの自主防災組織で15万円の資機材を購入したというときには、15万円しか出ないということがございます。だから、これを与えてというか補助金を出して、それを蓄財するというふうな種類の補助金ではございませんし、議員御質疑の中で触れられた26年度の補助金とは全く色が違うもの、使途が違うものでございまして、御理解を賜りたいと存じます。

(総務課長 牛居秀行君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) ほかにありませんか。

11番、美濃良和君。

(11番 美濃良和君 登壇)

○11番 (美濃良和君) 今、いろいろと各議員さん方、質疑をされておったんですけど、私のほうから少しお聞きしたいと思います。

まず、このマイナンバーなんですけれども、今まだ与党内でちょっと意見が違うというんか、そういうふうな話が出てきているようなんですけれども、とりあえずマイナンバー、なければあかんもんかどうかですね。今までも支障なしに来ているわけですけども、マイナンバーを皆持ってくれということなんです、その辺はどうであるのかお聞きしたいと思います。

それから、53ページの12目の防災諸費、この中で3節の職員手当があって、100万円上程されています。さっきの説明でも台風11号による職員が出てくれたことによるんだということであったと思うんですが、最近、台風等も大きくなってきているように、あちこちで被害も出てきているようなんですけど、その辺の台風の状況というのですか、今後またそういうふうにな大きな台風となってくると、またいろいろと人の配置というふうなことにもなってくるかと思うんですけども、その辺のところはどういうふうに踏まえておられるのかお聞きしたいと思います。

それから、すみません、ちょっと聞き漏らしたんかわかりませんが、15節の工事請負費がありますよね、防災諸費の中の。防火水槽設置工事というのが540万円、これは1基だと思うんですけども、場所をお聞かせいただきたいと思います。

それから、56ページの下のほう、商工費ですね。商工費の中で先ほど田代議員のほうでも質疑されておりましたが、生石高原の関係ですけども、危険ということで展望台も撤去がされるということなんですけども、産業課長も答えておられましたが、いろいろとまた支障も出てきていると。下の遊具ですね、以前、予算化もされてるんですか、ありますよね。あれ、どうなっているのか。

それから、山の家周りにも手すりがありますよね。これについてもぼちぼち危なくなってきていると。この施設自体が木造みたいですけど、中に鉄筋が入ってるんですか、そういう施設で耐用年数というのはまだ来てないと思うんですが、課長が言われるようにいろいろと問題が出てきているということなんですけども、とりあえずそういうふうには手すりや何やという話は早くやっておかないと、そこでもし事故が起こってまいりますと、また大変いろいろ波及しますので、その辺のところの状況を把握しておくべきではないかと思いますが、状況をお聞きしたいと思います。

それから、58ページの教育費の教育総務費の中の13節の委託料で、フィールド整備委託料というのが4万6,000円、小さいんですが、それと指導委託料が6万6,000円と上がっております。これについてお聞きしたいと思います。

それから、すみません戻っていただいて、47ページ、債務負担行為なんですけども、人事評価制度導入委託料で28年度に302万4,000円と、これについてお聞かせいただきたいと思います。以上、よろしくお願ひします。

(11番 美濃良和君 降壇)

○議長 (小椋孝一君)

住民課長、増谷君。

(住民課長 増谷守哉君 登壇)

○住民課長 (増谷守哉君) それでは、美濃議員の御質疑にお答えさせていただきます。

50ページの13款2項1目の通知カード再交付手数料及び個人番号カード再交付手数料の御質疑で、このカードを持たなければならないかということでございます。これにつきましては、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、これが本年の10月5日施行されてございます。これに基づきまして、通知カードにつきましては10月以降、それから個人番号カードにつきましては来年の1月1日、これは申請に基づいて交付されるわけですが、通知カードにつきましては10月5日以降に各世帯宛に全ての町民の方に郵送されるという形になってございます。

持たなければならないかということでございますが、この法律に基づいて実施されていることでございますので、御理解を賜りたいと思います。

(住民課長 増谷守哉君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 総務課長、牛居君。

(総務課長 牛居秀行君 登壇)

○総務課長 (牛居秀行君) 美濃良和議員の御質疑にお答えを申し上げます。

まず、最近の台風についての状況はどうかというお尋ねであったかと思えます。最近の台風にかかわらず、最近の災害につきましては、以前でしたら100ミリを超える雨量というのは本当に想定外でございました。しかしながら、最近いろいろ異常気象といいましょうか、そういうことが関係するのでしょうか、100ミリ以上の雨というのは、これは想定外ではないというふうな、そういった状況になってございます。台風につきましても、さきの11号、これが紀美野町に接近したわけでありまして、この台風につきましても、通過後のほうが雨による影響が強かったといった、そんな傾向がございまして。

これでちょっとお答えになっているかどうかはわからないんですが、それで、今後台風については、順次人員を配置するということが必要ではないかというお尋ねであったと思えますけれども、これは今までもそうであったし、これからも引き続きそうでありまして、台風時におきましては、一応マニュアルがございまして、そのマニュアルに従いまして河川の水位の状況等、確認に職員を要所要所に張りつけるということでございます。

それから、いろいろと避難所というんですか、集会所も区長にあけていただきますので、そこへの毛布の配布であるとか備蓄品の配布であるとか、そういった人員の配置も必要となってきます。そういったところで、ちょっとお答えになっているかどうかわかりませんが、答弁とします。

それから、53ページの人事評価制度の導入委託料ということでございます。これにつきましては、我々、今まで勤務評定というのはずっとしてございます。しかし、平成28年度から国の決まり事になるんですが、人事評価というものを導入しなければならないということでございますので、その導入に当たりましてのコンサルの委託料でございまして。以上でございます。

すいません、答弁漏れがあったようでございます。

防火水槽の設置場所でありますけれども、これは紀美野町坂本地内でございます。

(総務課長 牛居秀行君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 産業課長、大窪君。

(産業課長 大窪茂男君 登壇)

○産業課長 (大窪茂男君) 美濃議員の質疑にお答えさせていただきます。

56ページの2目観光費の生石高原展望台撤去のことですが、以前、予算をいただいて、下の遊具の撤去ということでもお認めいただいたところですが、来場客の少ないときに施工したいと考えております。

それから、この展望台については、修繕ということも考えられるんですが、道路がないということで重機が入らないということと、マイナス十何度という日がかなり何日も続くということで、やはりモルタルが剥離というんですか、起こすということでございます。

それから、手すりの保護へということもありますが、指定管理者とも再三協議を行っております。そんな中で点検をしてまいりたいと思っております。今後については、生石高原の全体を見直す必要があるかなということも思っておりますので、あわせて検討させていただきたいと思っております。以上、答弁とさせていただきます。

(産業課長 大窪茂男君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 総務学事課長、前田君。

(総務学事課長 前田勇人君 登壇)

○総務学事課長 (前田勇人君) 美濃良和議員の質疑にお答えをさせていただきます。

す。

58ページの9款教育費、1項教育総務費でございます。この中の委託料でございます。これにつきましては、いずれも那賀広域森林組合のほうにお支払いをさせていただくものでございまして、美里中学校の生徒が野外体験ということで、森林体験をすることということで、間伐等を行って森林体験の学習をすることということでございます。以上でございます。

(総務学事課長 前田勇人君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 11番、美濃良和君。

○11番 (美濃良和君) ちょっと、債務負担行為について聞き取りにくかったんですけども、人事評価制度導入委託料ということで、この制度自体はどういうものであるのかお聞かせをしていただきたいと思います。

それから、マイナンバーについて、課長、御説明していただいたんですけども、最後の部分、聞き取りにくかったんです。ちょっとタベ遅くまでやってたもんで、そうなってくると血圧が下がる状況になって、そういうふうな状況になるんですが、要するにマイナンバー持たんでも問題ないということですよ。我々も12桁の数字はつけられますけども、つけられているということであって、それを持たなければどうにもならんとか、そんなもんじゃないし、本来はマイナンバー自体も必要ないものであると思いますが、その辺もう一遍確認したいと思います。

それから、あと53ページ見たら、企画費においても135万8,000円ですか、時間外があつて、それから防災諸費でも100万円と、そういうようなところ出てきています。それで、台風については本当にわからんというふうに言われますけれども、結局、京都議定書ですか、ああいうふうに世界的にCO₂減らそらよというのに日本は余り協力せんよというふうなことがあつたりして、今どんどん台風があつたり、竜巻が起こつたりとか、そういうふうに本当に余り昔は聞かなかつたような異常気象が起こっています。

そういうふうな中で職員がどっちか言ったら減らす方向にあるんですよ、合併効果ということで。そうなってくると、本当にこれがそういうふうなことになっていくのかなど。簡単に減らすということで回っていけるのかなというふうなことも思うんですが、その辺について聞いておきたいと思います。

生石高原は、いろいろと検討してくれるということですので、よろしくお願いします。

それから、教育のフィールド整備委託料は、美里中学校が間伐体験ですか、そういうようなことでされていくものであるということで了解しました。

残り、3点ほどよろしく申し上げます。

○議長（小椋孝一君） 総務課長、牛居君。

○総務課長（牛居秀行君） 美濃議員の再質疑にお答えを申し上げます。

まず、人事評価でございます。人事評価につきましては、どういうことなのかということでございますが、人事評価につきましては、能力、業績の両面からの評価をいたします。評価基準の明示や自己申告、面談、評価結果の開示などの仕組みによって、客観性等を確保しながら人材育成にも活用していくというのが人事評価でございます。

具体的に申し上げますと、まず職員に目標を立てていただきます。その目標につきまして上司と部下がいろいろ面談の中で、その修正ないしその設定を行っていくと。それでまた1年たちまして、その業績がどうだったのかと、1年というかその中でどれだけ達成ができたのかといったこととか、いろんな日ごろの仕事の面の評価をしていくために評価シートというのをつくって、客観的な評価ができる評価シートをつくって、公平・公正な評価をしていこうというものでございます。この評価については、勤務評定と違いますところは、その個人ですね。例えば、上司が部下に対して、君はこうだよということを説明をし、納得をさせなければならないというところが、これが大きく違うところでございます。

それから、台風でございます。異常気象が最近多くて、今まで竜巻等がないようなところでも発生していると。仰せのとおりだと思います。この原因につきましては、確かなことはわかりませんが、やはり環境が変わってきているんだろうと、思っているところでございます。

それから、職員が減る中において、台風のときの備えは大丈夫かという御質疑であったかと思いますが、現時点におきましても台風等におきましては、ものすごい激甚災害の場合は別でしょうけれども、通常の場合、限られた職員しか出てきてございませんので、それで対応ができてございますので、それについては心配がないものと考えてございます。

ただ、大規模な災害であったり激甚災害が起こった場合は、職員で対応できない場合は、警察や自衛隊の助けを得なければならないということになるかと思いますが、通常の台風につきましての待機につきましては、影響がないと考えておるところでございます。

す。以上でございます。

○議長（小椋孝一君） 住民課長、増谷君。

○住民課長（増谷守哉君） 美濃議員の再々質疑にお答えをさせていただきます。

カードを持たなくても特に問題はないかということでございます。このカードつきましては、身分の証明または各種行政関係の申請関係の利便性を図るためにつくられているものでございます。持たなくても特に支障が出るというようなことは、利便性が果たせないというその点が問題になるんですが、通常、生活していく上では特に問題はないかと考えております。以上です。

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで質疑を終わります。

これから議案第81号に対し、討論を行います。

反対討論を行います。

11番、美濃良和君。

（11番 美濃良和君 登壇）

○11番（美濃良和君） この補正予算で町長もよく言われているところの近畿の軽井沢でしたか、生石山について非常に評価をして大事にされている部分のですね。もっとさらに生石山については、道路から始まって進めていっていただくと。そういう中で一定の今回はこの部分の整備を進めていくということについて、本当によいことだと思います。

ただ、問題はマイナンバーなんですよね。これは、うちの町が独自にやる制度ではないことはわかっています。しかし、マイナンバーによってそれぞれの12桁のナンバー、数字を我々がつけられて、いろんなものの情報がここに集中されていくと。このところで問題があるかというふうに思います。さきにも言いましたけれども、絶対に漏れないと言っていたいろんなものが、最近どんどん情報が流出していると。そういうふうなことで絶対大丈夫ということとは言えないのが本当のところだと思います。

そういうふうなところであったり、今、マイナンバーを持ってて自分の証明に使えるということでもありますけれども、それを持っていたために、先ほどからの質疑にもあったように落としてしまった、あるいはなくしてしまったと。それで情報が漏れていった場合に、いろいろと支障が出てくる、そういうことが考えられます。

今まで、こんなマイナンバーとかそんなものを持たなくても生活できたし、持たなければ生活できないことはない、これは先ほどからの質疑の中でもそういうふうに答弁いただいたわけでございますけれども、そういうふうな必要ないものについて、国自体も多額のお金を使って持ってくると。これは、本当に問題だと思います。町としても、このマイナンバーを実施するために、こういう予算、また、わざわざこのカードを渡すために臨時ですけれども職員を置かなければならんと、こういうふうな状況にもなってくるわけであります。

そういうことで、この補正予算全体については、私は問題ないと思いますが、1点、やはりマイナンバーについて、これは私は問題であると思います。そういうことから、残念ながらこの補正予算に対して反対いたします。

(11番 美濃良和君 降壇)

- 議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。
(「なし」の声あり)
- 議長（小椋孝一君） 反対討論ありませんか。
(「なし」の声あり)
- 議長（小椋孝一君） 賛成討論ありませんか。
(「なし」の声あり)
- 議長（小椋孝一君） これで討論を終わります。

これから議案第81号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

議案第81号は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

(起立多数)

- 議長（小椋孝一君） 起立多数です。
したがって、議案第81号は原案のとおり可決されました。
しばらく休憩します。

休 憩

(午前10時30分)

再 開

- 議長（小椋孝一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午前10時45分)

◎日程第7 議案第82号 平成27年度紀美野町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について

○議長(小椋孝一君) 日程第7、議案第82号、平成27年度紀美野町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について、議題とします。

これから質疑を行います。

5番、田代哲郎君。

(5番 田代哲郎君 登壇)

○5番(田代哲郎君) 歳出で66ページの償還金利子及び割引料で過年度償還金356万7,000円、この歳出についての説明をお願いします。

それから、66ページ、同じく基金積立金、1項です。それで介護給付準備基金積立金で積立金324万5,000円の積み立て計上です。こちらのほうは基金の仕組みについて説明をお願いします。以上です。

(5番 田代哲郎君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 保健福祉課長、宮阪君。

(保健福祉課長 宮阪 学君 登壇)

○保健福祉課長(宮阪 学君) 田代議員の御質疑にお答えいたします。

66ページの4款諸支出費、1項2目償還金でございます。過年度返還金ということで国庫分・県費分支払い基金返還分の356万7,000円でございます。これにつきましては、介護給付費国庫負担分で240万6,311円、それから地域支援事業交付金、国庫分56万756円。それから、地域支援事業費交付金、県費分でございます。28万379円、それから地域支援事業交付金、支払い基金分で4万8,735円。それから、事業費補助金国庫分でございます。これにつきましては、システム改修等の費用の余り分27万円でございます。

続きまして、同じく1目介護給付費準備基金の仕組みでございます。

準備基金積立金ということでございます。これにつきましては、3年間の保険財政を補うための基金で、26年度決算により残った分を積み立てしていきたいと考えます。当初、計画では基金の積立金は考えてございません。介護保険事業計画による計画の保険料の見込みについても、積立金はないものという形で保険料の算定もなっております。今後、介護財政のほうでマイナスが出れば積立金を崩していくというふうな形でご

ございます。

以上、簡単ですが御説明といたします。

(保健福祉課長 宮阪 学君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) ほかに質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで質疑を終わります。

これから、議案第82号に対し討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第82号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第82号は原案のとおり可決されました。

◎日程第8 議案第83号 平成27年度紀美野町上水道事業会計補正予算(第1号)について

○議長 (小椋孝一君) 日程第8、議案第83号、平成27年度紀美野町上水道事業会計補正予算(第1号)について、議題とします。

これから質疑を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで質疑を終わります。

これから、議案第83号に対し討論を行います。

反対討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) 賛成討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで討論を終わります。

これから議案第83号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(小椋孝一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第83号は原案のとおり可決されました。

◎日程第9 議案第64号 平成26年度紀美野町一般会計歳入歳出決算の認定について

○議長(小椋孝一君) 日程第9、議案第64号、平成26年度紀美野町一般会計歳入歳出決算の認定について、議題とします。

説明は、9月8日に終わっていますので、これから質疑を行います。

質疑は分割して行います。

議員の皆様をお願いいたします。質疑をするときには、まずマイクを自分の方向に向けて、ページ数を言って質疑をしてください。

それでは、歳入について質疑を行います。

5番、田代哲郎君。

(5番 田代哲郎君 登壇)

○5番(田代哲郎君) それでは、まず一般会計歳入について質疑をいたします。

まず、第1款町税、8.1%、10ページと11ページです。町税総額は、平成20年度の9億9,158万3,666円をピークに、平成21年度以来減収傾向が続いています。平成26年度は、前年度に比べて1,470万4,452円の減収となっています。

まずお尋ねしたいのは、この決算における平成26年度の財政力指数がどうなっているのかお聞かせください。

それから次、同じ10、11ページの市町村たばこ税です。収入済額が平成23年度は2,786万4,629円であって、それから25年度は2,517万5,028円、この決算では2,042万1,688円とずっとこれも減り続けてきました。納税対象者というんですか、町内にある販売店でたばこ税の納税義務を負っている対象者の推移、対象展望の推移はどうなっているのかお願いいたします。

それから、2款地方譲与税で、これも10ページと11ページです。地方譲与税の収入済額は6,754万2,000円です。合併時の1億7,938万672円、これが平成18年度、合併時の地方譲与税の収入額ですが、それ以来、毎年減額が続いています。この地方譲与税がずっと減り続けている要因というのはどういうことなのかお願いしま

す。

それから次、12、13ページに移りまして、地方消費税交付金です。収入済額が1億101万1,000円と。これは、平成25年度の交付金は8,248万2,000円でしたから、当初予算額でも9,045万円ということで、その予算額も1,000万円を超える予算額を、1,000万円以上上回っています。平成25年度までの毎年、年間数百万円ずつずっと減り続けてきたのが、5%の消費税が8%になったおかげで、合併以来初めて1億円の大台に乗りました。どう見ても今の景気の状態というのは、売上げがふえてはいないというふうに思うんですが、税収だけがふえていくという。納税者の視点で考えると、それを納税者の立場で考えると、町にとっては増収であっても、決して喜べるような増収ではないというふうに考えますが、その辺は当局はどういうふうに考えておられるのかをお願いします。

それから、10款の地方交付税です。構成比49%と非常に大きな、14から15ページになります。構成比が非常に大きく、50%上がってますけど、非常に大きい額になります。普通交付税35億1,348万2,000円、特別交付税が5億3,471万1,000円です。直して40億4,819万3,000円ですか。平成25年度は、総額41億183万8,000円の計上でした。

36から37ページに臨時財政対策債が計上されているんですが、合わせると43億1,342万2,000円となります。せんだっても今後の財政運営について美濃議員のほうから一般質問であったと思うんですけど、今までのところ余り減収ということにはなっていないんですが、これから先の、説明にあったように、地方交付税の今後の推移、もう一回ここでどうなっていくとを考えておられるのかをお願いいたします。

それから、16ページと17ページに移ります。使用料及び手数料で構成比が1.1%、1項使用料、それで4目土木使用料で1節の公営住宅使用料、2,899万1,000円の計上です。収入未済額498万2,600円です。滞納繰り越し分の調定額は446万9,600円ですが、徴収率21.28%で95万4,300円ということで非常に低い徴収率というか少ない金額になっています。平成25年度では、42.18%の徴収率で238万1,400円の収入となっています。徴収率が21%と非常に低いのはどういう原因からかをお願いいたします。

それから、14款国庫支出金で、20ページと21ページです。国庫支出金の構成比は7.5%ですが、1目総務費国庫補助金、1節総務費補助金で、先ほどから再々質疑

に立ちます社会保障税番号システム整備補助金925万9,000円ということで、多分歳出のほうでマイナンバーに関する歳出が幾つかありますので、それに対応するんだと思いますけども、この補助金というのは歳出のどの歳出に対応する事業なのかをお願いをいたします。以上です。

(5番 田代哲郎君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 総務課長、牛居君。

(総務課長 牛居秀行君 登壇)

○総務課長(牛居秀行君) 田代議員の御質疑にお答えを申し上げたいと思います。ちょっと数が多かったものですから、メモし切れないうところがございますので、答弁漏れがございましたら後ほど御指摘を賜りたいと存じます。

まず、一番最初に26年度決算におきます財政力指数のお尋ねがございました。平成26年度の財政力指数につきましては、0.22でございます。

それから、10ページ、11ページの地方譲与税についてでございます。この地方譲与税につきましては、まず、地方揮発油税の譲与税と自動車重量譲与税、この二つがあるわけでございますけれども、まず地方揮発油税の譲与税につきましては、国は揮発油に対しまして地方揮発油税を課税し、地方へ譲与されることとなつてございます。総額の58%が都道府県に、残り42%が市町村に対し、それぞれ道路の面積及び延長で案分された状況で譲与される税でございます。この税につきましては、平成25年、26年度を比較いたしますと、約147万2,000円の減額となつてございます。

今、議員御指摘のように、この地方揮発油税につきましても、合併以来多少のこぼこはございますけれども、右肩下がりの状況でございます。これにつきましては、揮発油ガソリンの取引の減によるものと考えておるところでございます。

それから、自動車譲与税、自動車重量譲与税につきましても、対前年比較をいたしますと200万円の減ということで、これにつきましても議員御指摘どおり、右肩下がりということで、全体的に地方譲与税が右肩下がりになってございます。この自動車重量譲与税につきましては、車検でございますが、検査自動車及び届け出軽自動車に対して課税されるものでございまして、その収入の1,000分の407に相当する額を自動車重量譲与税として、市町村に対しまして道路の面積及び延長で案分されるものでございます。

これにつきましては、いろいろと減額される要因等はあるかと思っておりますけれども、

自動車台数が減っているというわけではなく、我々が思っておりますのは、エコカー減税というのがございまして、そのエコカー減税に該当する車が多くなったんじゃないかというように今考えております。それが減額要因であろうかと考えております。

それから、次に12ページ、13ページの地方消費税交付金についてでございます。この地方消費税交付金につきましては、対前年比較といたしまして、1,852万9,000円増額となっているところでございます。これにつきましては、平成26年度におきましては消費税が5%から8%になったということで、地方消費税にかかる分が5%のときは1%が地方消費税に当たっておったんですが、5%から消費税が8%になることによりまして、地方消費税が1.7%と平成26年4月からなっております。これによって、平成26年度大きく増額になっておるところでございます。

この地方消費税につきましては、地方消費税の2分の1に相当する額について、市町村に対して人口で案分されて、国勢調査の人口になりますが、人口で案分されたものが交付されるものでございます。26年度の増額につきましては、消費税アップによるものであると考えておるところでございます。

それから、14ページ、15ページの地方交付税でございます。この地方交付税につきましては、大変歳入で占める割合が大きい、半数以上になるというふうに、大変歳入では大事なものでございます。これにつきましても、平成25年度と比較をいたしますと、トータルでいいますと5,364万5,000円の減額となっております。この地方交付税につきましては、普通交付税と特別交付税がございます。この交付税につきましても、下がってきておる状況でございます。

地方交付税の今後の状況はどうなるのかという御質疑であったかと思えます。今後につきましては、議員も御承知のように、平成28年度から平成32年度のこの5年にかけて、合併算定がえが縮減されていくことになってございます。まず、0.9、0.7、0.5、0.1という形で5年かけて縮減がされていきます。その影響額につきましては、単純に試算することは難しいものではございますけれども、4億円から4億5,000万円ぐらいの減額になるのではないかと考えでございます。

ただ、これは単純試算でございますので、いろいろと国のほうでも平成26年度から5年間かけまして、この地方交付税についての見直しを行うということもございまして、今後の動向につきましては一概にそういった単純な試算ではいかないものと考えてございますが、ふえていく要因は少ないということでございます。

この地方交付税につきましては、大変人口というのが大きな影響を及ぼすものでございまして、人口が明らかにがんとふえるということがない限り、やはり下がっていくという試算でございます。

それから、20ページ、21ページの総務費の国庫補助金の中の社会保障税番号システム整備補助金925万9,000円、この歳入についての歳出がどこなのかということでございます。申しわけございません、ちょっと待ってください。

すいません、47ページ電子計算費で、6目の電子計算費の中の電算システム設置委託料というところ、社会保障税番号制度に伴うシステム改修委託料ということで973万6,200円という計上でございます。これに対応するものでございます。失礼いたしました、時間をかけまして申しわけございません。以上でございます。

(総務課長 牛居秀行君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 税務課長、西岡君。

(税務課長 西岡秀育君 登壇)

○税務課長 (西岡秀育君) それでは、田代議員の質疑にお答えいたします。

たばこ税の減少については、皆さん御存じのとおりたばこの健康面に配慮し、喫煙者が減少しているのと、昨年に当たっては消費税の導入に伴うもの、そして店舗数の減という形にはなっているかと思えます。店舗数でございますが、たばこ組合が平成26年3月31日をもって解散いたしました。それで、現在は店舗の把握はできておりません。先日、県のたばこ組合のほうに照会いたしましたところ、個人情報兼ね合いがありお教えできませんという回答をいただきましたので、御期待に沿えないかと思えます。

ただ、平成23年度には36店舗、24年度には33店舗、25年には同等の33店舗ございました。以上でございます。

(税務課長 西岡秀育君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 企画管財課長、中谷君。

(企画管財課長 中谷嘉夫君 登壇)

○企画管財課長 (中谷嘉夫君) 田代議員の御質疑にお答えいたします。

16ページ、17ページの土木使用料の公営住宅使用料の滞納繰り越し分の徴収率が25年度は42.21%だったのが、26年度は21.22%であったということで、その低い理由のことですけれども、25年度につきましては、滞納者との交渉により141万7,000円の納付があったということで、その後も26年度との差等につきまして

は、そういったように25年度には努力により納付されたということが大きな原因だということで、今後、滞納回収については努めていきたいと考えております。以上です。

(企画管財課長 中谷嘉夫君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 5番、田代哲郎君。

○5番 (田代哲郎君) まず、町税のところで、今度は税務課に係るところをいきます。

財政力指数、たしか0.24ぐらいは24年度はあったと思うんですけど、0.22と毎年下がる傾向にあるということで、大変危惧すべき状況だと思います。町税の不納欠損額で425万3,345円、全体の収入からしたらそんなに高いとは言えないんですが、平成25年度は248万3,764円ですから倍近くになっているということになります。

特に、個人町民税で114万2,945円が滞納繰り越し分で不納欠損となっておりますので、成果説明書にこの26年度から初めて、不納欠損について記載されています、これ初めてですけれども、8ページに賦課徴収費ということで、不納欠損の状況が承認されています。この表も参照にしながら、個人町民税の不納欠損がふえた理由についてお願いをいたします。

それから、市町村たばこ税については、店舗の数は30から33ぐらいで変わらない。これは、コンビニだとかで売ってるたばこは関係なんですよ。入るんですか、コンビニで販売する分も。しかし、健康志向もあるし、消費税も上がってるんですけどずっと減り続けてきたと。今後も減り続けるという見通しなのかどうか、この辺のことをお願いします。

地方譲与税につきましてはわかりました、エコカー減税とか。揮発油、ガソリンのあれが、取引が。要するに、ガソリンが余り売られてないということ。

地方消費税交付金について、26年度から、5%から一気に3%引き上げて8%へと増税したことで、消費のほうはかえって冷え込んでしまって、経済の混迷・低迷というんですか、今でもそんな回復、回復と言いながら実感はないわけです。その点、経済見通し、財政についての見通し、大幅に上回ってて、政府は増税前には駆け込みの需要があり、増税直後には一時的に消費が落ち込んで、でも夏ごろには回復しますということでしたんですけど、駆け込み需要は思ったほどではなくて、逆に増税後の落ち込みが予想を上回り、今も続いているのが実情で、平成27年度当初予算には、この交付金は交

付事象も変わるということで、1億3,000万円の計上になっています。25年度までは、毎年ずっと減り続けてきた地方消費税交付金の、本当にそんなに1億3,000万円もというのはどうなにかと。物のいわゆる売れるのがそれでふえていったら、販売量がふえていったら、それはあるでしょうけども、今後も一旦1億円に乗ったんですけど、地方消費税交付金の人口の問題もありますので、今後の見通しはどう考えておられるのか、お願いします。

それから、地方交付税は今後下がると、かなり4億5,000万円ぐらいの減収になる。これは、国のあれで、当然、そういうことにならないようにという国への働きかけというんか、町村会とか知事会、そういう県とか町村会とかで働きかけは行っておられるのか、黙って下がったままにというわけにはいかないと思うんですけど、働きかけはしておられると思うんですが、その辺をお願いします。そういうことは、やっぱり国も見直してもらわないと、こういう各地の自治体は大変だと思いますので。

それから、16、17ページの公営住宅使用料なんですけど、25年度は交渉してうまくいったと。だが、26年度については、交渉してもうまくいかないということなのか、その辺がどうしてなんか、その辺のことをお願いをいたします。以上です。

○議長（小椋孝一君） 税務課長、西岡君。

○税務課長（西岡秀育君） それでは、田代議員の再質疑にお答えをいたします。

不納欠損ですが、町民税に限らず、全ての税において不納欠損はいたしております。国民には三大義務がございまして、その中の二大義務については、権利と義務、もう一つ、納税に対しては義務の項目しか示されておりません。滞納してもよいというような権利はございません。

そこで、不納欠損は地方税法及び国税徴収法、地方税法第18条第1項の規定に基づく債権の消滅時効、いわゆる5年が完成でございます。及び、地方税法第15条の7、第4項及び第5項の規定に基づく執行停止に係る債権の消滅によるものは、納税緩和処置と言われる不納欠損処理でございます。地方団体への地方税の債権は、法定納期限の翌日から起算して5年間行使しないことによって、時効により消滅するということとなりますが、時効の完成によって不納欠損の内容といたしましては、主に居所不明者、死亡者等によるものでございます。執行期間中に消滅時効に係るものも含んでおります。執行停止に係る債権の消滅とは、地方税法第15条の7の第1項に、滞納処分をすることができる財産がないとき、滞納処分をすることによって、その生活を窮迫させるおそ

れがあるとき、その所在及び滞納処分をすることができる財産がともに不明であるときの理由で、今回の不納欠損処分を行ったものでございます。

次、たばこ税に関しては、コンビニについては、当町内であれば当然たばこ税は当町に入ります。現状におきまして、7月の段階では、前年対比約20%増となっておりますので、ことしは26年度の決算に比べれば少し伸びるのではないかと期待をしております。以上でございます。

○議長（小椋孝一君） 総務課長、牛居君。

○総務課長（牛居秀行君） 田代議員の再質疑にお答えをさせていただきたいと思っております。

まず、地方消費税交付金についての御質疑がございました。消費税がアップされることによりまして、この平成26年度ではふえておるわけでありまして。それから、議員仰せのように、平成27年度におきましては、これは約1億3,000万円の今は予算どりをしております。平成26年、1億100万円と、平成27年度においては1億3,000万円、これ伸びるんかというお話だろうかと思います。

この平成26年度の地方消費税の交付金につきましては、税率が上がったのは平成26年4月1日からでございます。26年度として入ってきましては26年4月1日から27年1月分までの10カ月分でございます。多少、消費税というのは、一旦国のほうに入りまして、そこから町のほうに来ますので、タイムラグがあるわけでございます。平成26年度については、その10カ月分、平成27年度につきましては、平成27年2月分からずっと来ますので12カ月分、平準化されるということでございまして、やはり26年度よりふえるという試算のもとで平成27年度予算につきましては1億3,000万円を見込んでいるところでございます。

結果につきましては、まだ会計が閉めてございませんのでどういう結果になるかわかりませんが、平成26年度よりは上がるのではないかというところの試算でございます。

それから、14ページ、15ページ、地方交付税についてのお尋ねがございました。地方交付税についての今後の成り行きにつきましては、先ほど申しました大きな流れでございまして、各地方が合併によって非常に、合併はしたけれども面積はより多くなって、行政コストがやっぱりする前よりも上がるということの中で、先ほども申しましたけれども、国のほうでも平成26年度から5年間かけまして、この交付税につい

ての見直しを行っておるところでございます。その結果について、どうなっていくかということとはわかりませんが、ちょっと具体的に申し上げますと、平成27年度におきましては、人口減少の特別対策として、これは地方創生の関係もあるんですが、約1億6,300万円が入ってきております。

それから、支所があることによる行政コストが上がるだろうということも見ていただけるようになりまして、それについては5,500万円、うちは消防を抱えておるわけにありますけども、そういうところについても行政コストが上がるだろうということで、約830万円という形で、平成27年度にも入ってきておるわけでございます。これが今後どういうふうな推移をたどっていくかにつきましては、今現時点におきまして申し上げることはできませんけれども、全体としてこういう流れはあるんですが、全体としては、やはり地方交付税は当町にとっては下がっていくという試算をしておるところでございますので、御理解を賜りたいと存じます。

○議長（小椋孝一君） 企画管財課長、中谷君。

○企画管財課長（中谷嘉夫君） 田代議員の再質疑にお答えいたします。

16ページ、17ページの土木使用料、公営住宅使用料の中の滞納繰り越し分の関係でございますけども、26年度の交渉についてということですけども、先ほど25年度の分について141万7,000円と言いましたのは、1人の滞納者ということの中で、そういったことで飛び抜けて多かったということで、26年度も引き続き交渉は、ほかの方についてはしておりますが、原因がそういったことで高かったということでございますので、御理解いただきたいと思っております。以上です。

○議長（小椋孝一君） 5番、田代哲郎君。

○5番（田代哲郎君） この成果説明書で見ますと、8ページです。この不納欠損について、個人町民税も114万2,945円と結構あるんですが、固定資産税も224万8,100円ということになっています。だから、町民税とか固定資産税を納められない人がやっぱりそれなりにあるのかなと思いますんで、地域経済のあり方を展望して、今地域おこしを一生懸命この町でもやっているんですが、そういったことが積極的に効果が上がってこない限り、増税というのはなかなか難しいだろうというふうに思います。

ただ、ずっと町税全体を表にしてみると、減額の幅でそれはどこであれなんかわかりませんが、町民税ということではないかもわかりませんが、平成25年度は減額幅

が2,517万5,000円だったのが、26年度との間では2,000万円程度に減額幅が少し減ってきています。だから、あながちずっと減っていくということもわからないんですけど、町民税や固定資産税の税収について、今の状況であればそんなに下がらないようには見えるんですけど、その辺はどうなのか。

それから、市町村たばこ税は、コンビニでの売り上げ分もかかってくるということなんで、コンビニたくさんつくってくれたら。

地方譲与税もわかりました。

問題は、消費税交付金なんですけども、一つ聞きたいのは、最近コンビニがこの近くに2店舗できて、また小畑のほうへもう一店舗開店するという事。そういうコンビニで売り上げた売り上げというのは、交付金の対象になるのかどうか、その点が1点。コンビニが必ずしもいいとは言えません。地元の店舗を圧迫するところもあるんですけど、ただ、景気が回復した、回復基調にあるとはいうものの、この町に住んでてそんな実感はほとんどないわけですから、悪化しているからこそ、去年の10月から10%に上げると言うてたんを見送ってしまって、しかし、来年の4月からは絶対やるといふうに、そうなっているわけです。

それで、景気が悪化したら、上げるのは見直すというふうに法律に書いてあったんも全部削除してしめて、何があっても上げやなあかんようにしてしまったということがあります。そういうことがありますので、このまま10%に増税され、来年4月から増税されるわけですから、このまま行けばですよ。そうなったら、今後、コンビニも含めてですけど、売上高とかが減るといふことも考えられるんで、地域経済等にはどんな影響をするのかというふうに心配するんですけど、その辺についてはどうなんかなお願いします。

○議長（小椋孝一君） 税務課長、西岡君。

○税務課長（西岡秀育君） 町税の推移ということでお尋ねをいただきました。町民税につきましては、大きな要因といたしましては、現役退職者の方がやはり多いという。退職されると、翌年度3月末であれば3カ月分の収入額しかない。翌年に計算していると、町民税が10万円ぐらいかかっていたものが0円になってしまうというふうな経過と思います。当然、人口の動態にもよりますし、景気の動向にもよります。

固定資産税につきましては、大きな要因といたしましては、土地の下落修正ですね。評価が下がっているというのが大きな要因であって、家屋につきましては、新築家屋の

増設というんでしょうか、金利が安くなればローンを組んで家が建つという反面もございます。償却資産につきましては、償却資産の経年の償却率によって課税標準額が下がるというふうなことかと思えます。

たばこ税については、先ほど申し上げたとおりでございますので、よろしく御理解賜りますようお願い申し上げます。

○議長（小椋孝一君） 総務課長、牛居君。

○総務課長（牛居秀行君） 田代議員の再々質疑にお答えを申し上げたいと思えます。

地方消費税交付金について、コンビニとかそういう事業所関係のものが影響するのかわかるといってお尋ねだったと思えます。地方消費税交付金につきましては、事業所統計等における数値につきましても案分の対象とされてございますので、影響はあろうかと思えます。どれだけ影響があるのかということにつきましては、ちょっと現時点ではわかりませんが、影響があるのかと聞かれば、影響があるだろうということでございます。

それから、今後の地域経済への影響というお尋ねがございました。10%になって地域経済への影響はどうかというお尋ねがございましたけれども、現在におきましては、平成29年4月1日から消費税率が10%に上がるということでございますが、そのときの国が出す経済施策であるとか、また、そのときの社会経済状況、景気の状況でございますが、それと軽減税率、今検討されておりますけど、そういったものがどうなるのかという、非常に不確定要素が多い中で、現時点におきましては町のほうから、こうなるといふ具体的なものは申し上げることができません。こういったものの影響によって、悪くもよくもなるのではないかとこのところで答弁といたしたいと思えます。

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ありませんか。

11番、美濃良和君。

（11番 美濃良和君 登壇）

○11番（美濃良和君） 今、田代議員のほうから多岐にわたって質疑がされたわけでございますけども、あとちょっと気になるのは、一つは11ページの同じく町税の不納欠損ですけども、非常に毎年毎年多いんですね。本年度は、町税で不納欠損額が425万3,345円ですか。これ、前年もその前も200万円とかそういうような数字で上がっています。町民税、そういうことで、その下の項の町民税においてもそうですし、それから法人税、恐らく今まで法人というのは不納欠損というのは余り見られ

んかったんですけども、今回は46万円の数字が上がっていると。それから、固定資産税についてもずっと出てきています。

これは、どのように捉えておられるのか。居所が不明とか死亡ということでございますけれども、こう毎年毎年、最近では減るような状況になっていくのか、その辺の押さえ方についてお聞きしたいと思います。

それから、軽自動車税は、これは本当にわからんわけですか。

それと、不納欠損について、税の回収機構やら県のほうへ回すとか、そういうのが成果表で挙がっておりましたけれども、県とかその辺のところの回す状況というんですか、それはどうであるのか、どういうふうなところを回しているのか。やっぱり、無理なところからとれないわけでございますから、その辺の状況についてお聞きしたいと思います。

そして、ずっと税金とか減ってきているわけですが、ゴルフ場の利用税も減ってきてますよね。そして、10ページに5項で入湯税が31万6,270円上程されています。前年に比べて10万円減っているわけですけども、これは1社ですよ。これについてですけども、非常に今も観光全体が厳しい中で、これは後の歳出のところでもどういふふうに流れていくかわかりませんが、説明していただきたいんですけども、相当に考えてやらねばならないような状況になってきているんじゃないか。この扱いについて聞きたいと思います。

それから、12款の15ページの分担金・負担金ですね。農林水産業費分担金、土木費分担金と上がっておりますけれども、そのうち農林水産業費分担金の中の節1の農林水産業費分担金の中の部分ですね。施設改修用代用支給もございますけれども、小規模土地改良水田農業生産基盤保全管理等と上がっておりますけれども、今、農業もだんだん厳しい方向に向かっている中で、ここのところの数字を考えるべきやないかと思いますが、お聞きしたいと思います。

それから、15款3項の衛生費県補助金の中の不妊治療補助金、これで6万6,000円ですか、これについての説明をお願いしたいと思います。

それから、33ページ、ここで雑入がずっと上がっておりますけれども、この中の一番上ですね。駐車場の職員等自己負担金で389万5,035円と上がっています。これで職員の駐車場の費用に対して、このお金が徴収されているようでございますけれども、以前からも気になっているんですけども、正職員も、それから臨時も同じ扱いにな

っているというふうに聞いているんですけども、これやっぱり考えなければならぬんじゃないかというふうに思うんですね。時間的な問題、それからまた町の払う給料等も考えた場合にどうであるのか、そのように思いますが、お聞きしたいと思います。

そして、この雑入、33ページの上から六つ目に、小中学校の健康会保護者負担金というのが21万3,900円上がっていますけれども、これはとることは妥当なんかどうかですね、もらうことは。この金額、以前から気になっているんですけども、この数字、なくしていったらどうかと、についてお聞きしたいと思います。

それから、最後に37ページに臨時財政対策債が2億6,522万9,000円と上がっておりますけれども、この状況、紀美野町はどこまで来ているのかお聞きしたいと思います。以上、よろしくお願ひします。

(11番 美濃良和君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 税務課長、西岡君。

(税務課長 西岡秀育君 登壇)

○税務課長 (西岡秀育君) それでは、美濃議員の御質疑にお答えをいたします。

まず、不納欠損の法人については、倒産2件でございます。軽自動車については、死亡者もしくは居所不明、もしくは財産等がないということで行なっております。

ただ、不納欠損をするに際しては、期間を待っているだけではなく、確実な調査。昨年であれば、約700件、枚数でいえば2,300枚の調査事項で調査し、財産があるかないかを確認、その上、財産のない方については不納欠損処分に至ったわけでございます。決して私どもは、仕事を怠慢しているわけではございませんので、御理解を賜りたいと思います。

その次、県もしくは税回収機構につきましては、県につきましては県民税、いわゆる住民税の該当する方でございます、その中でやはり滞納額が多い方を優先に県に移管しております。回収機構も、納税約束はしていただきましたが、それを履行していただけない方、もしくは税額の多い方を対象に移管をしております。入湯税につきましては、現行条例のとおり、条例の定めるとおり徴収してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

(税務課長 西岡秀育君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 建設課長、井村君。

(建設課長 井村本彦君 登壇)

○建設課長（井村本彦君） 私からは、美濃議員御質疑の農林水産分担金についてお答えさせていただきます。

農林水産分担金につきましては、農業用施設、補修代用分担金が20%、小規模土地改良分担金が15%、農業生産基盤保全管理等推進整備事業分担金が5%となっております。これに関しましては、受益者負担という観点に立ちまして、負担の公平性という上からもいただいておりますので、御理解を賜りたいと思っております。

土木分担金に関しましては、県営事業の小規模崖崩れ対策事業の分担金でございます。町負担分の10%のうち5%を地元からの負担金としていただいております。

以上、簡単ですが答弁とさせていただきます。

（建設課長 井村本彦君 降壇）

○議長（小椋孝一君） 総務課長、牛居君。

（総務課長 牛居秀行君 登壇）

○総務課長（牛居秀行君） 私から、決算書33ページ、雑入の一番上ですか、職員の駐車場の負担金でございます。これにつきましては、お一人、1カ月1,000円をいただいております。臨時職員につきましてもいただいております。これにつきまして、臨時職員、日数等も少ない方もおられますが、月に1,000円ということでございますので、これにつきましては引き続き臨時職員も職員と同じようにいただきたいと思っております。

それから、37ページでございます。臨時財政対策債の今の現状ということでございまして、現在、残額といいたしでしょうか、借りておる総額であります。平成26年度、この決算を含めまして24億1,757万4,000円でございます。以上でございます。

（総務課長 牛居秀行君 降壇）

○議長（小椋孝一君） 総務学事課長、前田君。

（総務学事課長 前田勇人君 登壇）

○総務学事課長（前田勇人君） それでは、美濃議員の御質疑にお答えをさせていただきます。

33ページの雑入のところ、小中学校健康会への保護者負担金ということでございます。これにつきましては、独立行政法人日本スポーツ振興センター法施行令第10条に定められてございまして、義務教育課程であれば1人当たり920円ということで保

護者から徴収する額はその920円の10分の4から10分の6を徴収するという
ことになってございまして、その半額を徴収させていただいております。

なお、また要保護者、または準要保護者については町負担をさせていただいて
ございます。以上でございます。

(総務学事課長 前田勇人君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 保健福祉課長、宮阪君。

(保健福祉課長 宮阪 学君 登壇)

○保健福祉課長 (宮阪 学君) 私からは、25ページの3目衛生費、県補助金の
不妊治療費助成金の6万6,000円の内訳でございます。これにつきましては、歳出
のほうで87ページの上段にございます20節扶助費で、不妊治療費助成金13万3,
340円が支出してございます。内訳につきましては、5組の方で上限が3万円以上と
いうことになってございます。歳入部分については県助成金のみでございますので、2
分の1県費補助がつくという内容でございます。以上です。

(保健福祉課長 宮阪 学君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 11番、美濃良和君。

○11番 (美濃良和君) 税の先ほど不納欠損、これが私、今質疑したのは、毎年
毎年これだけの数字が上がっていると。これは、先ほど居所不明とか死亡とかというふ
うなことで、これは居所不明、死亡が系統者だけだったらいんですけども、全体にこ
ういうふうな内容でふえてきているとしたら、その状況というのはよくつかんでおかな
ければ、背景的に大変な問題になっていると。そのところがどうであるのか聞いたわ
けであります。

それから、入湯税については、条例があるんやったら条例変えたらいいわけで、今、
観光関係はこだけ景気が落ち込んでくると、相当に厳しくなっていると。うちに
にとっては大事な産業でもあると思いますし、1社だけになってしまっていますけれど
も、それはそれで大事にしなければならんんじゃないかということで聞いたわけであり
ます。条例云々でありましたら、一遍それはそれで考えてみるべきではないかと思いま
すが、どうでしょうか。

それから、いろいろと先に聞いていただいておりますので、今、土木の負担金等、これ
についても払える状況ということで考えた場合に、厳しい状況になっているんじゃない
かと。そこでもらわなければならないということでありますけれども、15ページの方

担金及び負担金の中の農林水産業分担金です。これについては、この額は当事者からして妥当であるかどうか、もう一回お聞きしたいと思います。

それから、不妊については、また再質疑で聞かせていただきたいと思います。

それと、駐車場の職員の自己負担金、これを一人1カ月1,000円というこの基準をどんな形でつくったのか、そののところ、つくった基準についてお聞かせいただきたいと思います。

そして、ちょっと僕聞き取りにくかったんですが、小中学校の健康会保護者負担金なんですけども、独立財団法人というふうなところに持っていくんだということであったんですが、10分の6と負担の割合、ちょっと聞き取れなかったんですけども、もう一度お願いいたしたいと思います。

それから、37ページの臨時財政対策債なんですけども、二十四億一千数百万円あるということでもありますけども、これの見込みです。本年度も臨時財政対策債を借り受けるということであったと思うんですけども、これ本当に国がちゃんと返済の分を交付税で見るといふことであつたら、入ってるんか入ってないかさっぱりわからんわけですけども、これ本当にどうなっていくんかという。合併による一本算定になった場合の減額あります、これから始まる。先ほど、牛居課長のほうから説明があつた、それと人口が減っていくという、それによる減額等々あるわけでございますけれども、そこでこの臨時財政対策債がどないなってくるんかということで、24億円抱え込んでしまうというふうなことになると思うんですけども、その辺のところの見通し等についてはどのように把握をされておられるのかお聞きしたいと思います。

○議長（小椋孝一君） 副町長、小川君。

○副町長（小川裕康君） 美濃議員の再質疑の中での職員から駐車場代金ということで月1,000円いただいているということの中で、1,000円の根拠でおっしゃられているんですけども、特に根拠はございません。1,000円ぐらいいただくのが妥当ではないかということとを合併前の旧の野上町、旧の美里町双方がそれぞれ判断して、1,000円ぐらいが妥当じゃないかということとをいただいている、そしてまた紀美野町になってそれを經由しているということとでございます。以上です。

○議長（小椋孝一君） 税務課長、西岡君。

○税務課長（西岡秀育君） 美濃議員の再質疑にお答えいたします。

先ほどの不納欠損の死亡者につきましては、亡くなってから時効が完成するまでは5

年かかります。ですから、5年前に亡くなった人がことし、来年、再来年と5年間不納欠損という形で処理されます。当然、その間におきましては、私ども調査いたしまして、後継者、継続者がわかれば、その方に納税負担をお願いするという形でございますので、御理解賜りたいと思います。

また、先ほどの入湯税でございますが、現状の条例がある限りは徴収をしまいたい。また、先日、だるま湯を見にいかせていただき、お話しさせてもらったら、ことしは高野山の1200年祭でちょっと潤ったかなというようなお話も聞いておりますし、大きな要因といたしましては、自然の災害といいますか台風、天候不順による影響が大きいと聞いております。以上、答弁とさせていただきます。

○議長（小椋孝一君） 建設課長、井村君。

○建設課長（井村本彦君） 私から、美濃議員の再質疑にお答えさせていただきます。

農林水産分担金の件でございますが、これはほとんど水利組合等からいただいているものでございます。財源とか事業の目的にあわせて負担率が決まっているものでございます。

ただ、負担金といえは出してくれるという考え方になると思うんですが、逆に考えますと20%の負担で80からは町から補助している。逆に言うと、15%で85%町が補助しますよ、もしくは5%の場合ですと、95%町が補助しているということで御理解を賜りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○議長（小椋孝一君） 総務学事課長、前田君。

○総務学事課長（前田勇人君） 美濃良和議員の再質疑にお答えをさせていただきます。

負担割合でございますが、義務教育課程におきましては、一人920円ということでございます。それで、その分の10分の4から10分の6ということを独立行政法人日本スポーツ振興センター法施行第10条で定められてございますので、御理解を賜りたいと思います。

○議長（小椋孝一君） 総務課長、牛居君。

○総務課長（牛居秀行君） 美濃良和議員の再質疑にお答えを申し上げます。

臨時財政対策債につきましては、議員も御質疑の中で触れられましたけれども、これは地方交付税に算入されるものでございますので、今後につきましても地方交付税で返

ってくるものと考えてございます。

○議長（小椋孝一君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） 私の聞き方が悪かったんかしれませんが、不納欠損の問題です。これについて、不納欠損のやり方がどんなに行われているかということで聞いたのではなくて、毎年数百万円の数字が出てきているということになっているわけですね。それが皆、亡くなった方ばかりなのか。だったら、課長の答弁なんですけども、そうじゃなくて、こっだけ出てきている背景というのはどうであるのか。亡くなった方が、あるいは居所不明の方々ばかりでこうなっているんだとしたら、それまででしょうけど、そのところで聞いたわけでありませう。

それから、入湯税ですけども、この間、高野山1200年祭、それからまた引き続いて国体によってお客が訪れるということが考えられるわけなんですけれども、それが済んでしまうとこれからまた大変寒い時期に入ってくると思うんです。今までもそうですからね。結局、カンフル剂的に1200年祭があった、何があったということでしょうけれども、そういうことであるので、やっぱり条例、ちょっと僕見てないんで申しわけないんですが、減免とかそういうふうなところはないんですか。大概、何についてもそういうふうなところがあるかと思うんですが、それについてもう一度お聞きしたいと思います。

それから、15ページの農林水産業分担金の問題ですけども、水利組合に出してもらっていると。課長が言われるように80%のお金を町が出しているんだということで、それは全額自分たちがすることから思えば大きな町からのサービスであると思います。

しかし、今の農業の実態というのがどうであるのか、どんだけ捉えられているかということなんですよね。2割の者がこういうふうな数字になっているとしたら、それで毎年それぞれ出していくということは、今後厳しくなっていくと。このときの26年度は、ちょっとどの水利組合が出したのかわかりませんが、水利組合といえどもだんだん加入者が減ってきている状況にあるのが、これはどうしようもないんですよ。それで、平地におけるところの農業と違って、こっだけ和歌山は急傾斜、しかも紀美野町は特に急傾斜のところが多い中、水路も相当長く引っ張ってこなければならぬと。そんなふうを考えていった場合に、水利組合の組合員が減っていった場合に、1件当たりの担う部分が大変大きくなっていくということから考えて、これはやはり考えていくべきだと思うんですよ。もう一度、それについてお聞きしたいと思います。

それから、33ページの雑入の中の駐車場の問題ですけども、こんなもんやろうい

いうことで1,000円を出したということなんですけれども、やっぱりこんなものやろうでもだんだんと厳しい状況になってきている。旦那さんが働いて、それで奥さんがちょっと助けるために働いてくれているとかそんなだったらいいんですけども、そういうのが主になってきた場合、やっぱり負担にもなってくるかと思うんですけど、一度1,000円、いろんな状況がある中で一律1,000円が適当なのかどうか、もう一度検討していただけたらと思いますが。

次に、健康会保護者負担金ですけども、10分の4から10分の6の額を間の中でもらっていると。だったら、一番少ないほうの金額ということになっているわけですか。その辺をもう一度聞きたいと思います。

財政対策債はちょっと置きます。以上、よろしくをお願いします。

○議長（小椋孝一君） 町長、寺本君。

○町長（寺本光嘉君） 美濃議員の再々質疑にお答えをいたしたいと思います。

まず14ページ、この負担金の問題でございますが、これが非常に受益者が減ってる中で考えるべきじゃないかと、こういう御意見であろうかと思いますが、やはり私はその受益者は、それなりの負担をすべきじゃないかと、私は思います。といいますのは、ある者が受益、益を受ける。ある者は受けてないという、その公平性をやはり保つべきじゃないかというふうに思いますので、従来どおり私はとっていきたくて、そのように思います。

それと、職員の駐車場の駐車料金1,000円の問題です。これにつきましても、実は車に乗ってこなかったら、これ徴収しないんです。したがって、やはりそうしたことで公有地の中へ車を駐車すると、こういうことでございますので、これは当然とすべきじゃないかと、私は思います。確かに、正職員とまた臨時職員、この差はあろうかと思いますが、やはりとめること自体は変わりません。したがって、やはり車で来る限りは、そうした駐車料は今後とも、微々たる1,000円でございますが、やはり皆さん方に還元をしていきたい、そうした意味から徴収いたしておるところでございます。ひとつ、御理解を賜りたいと思います。以上です。

○議長（小椋孝一君） 税務課長、西岡君。

○税務課長（西岡秀育君） それでは、美濃議員の再々質疑にお答えをいたします。

先ほどの不納欠損につきましては、議員がおっしゃっていた5年の時効の主な理由としては、死亡者とか居所不明者、3年の執行停止、地方税法で申し上げますと15条の

7、4項及び5項に基づく3年間の期間で完了となる執行停止につきましては、主な要因といたしまして、滞納処分をすることができない財産のない人、滞納処分をすることによってその生活が著しく窮迫させるおそれのあるとき、また、その所在及び滞納処分をすることができる財産が不明であるときというのも含みます。

ですから、先ほど5年間という時効の完成、地方税法第18条1項の規定に基づく消滅時効の完成5年間は、主に死亡者、居所不明者ということでございまして、その5年間の間に所在もしくは財産継承者の調査を行い、3年間の執行停止については、調査の段階において資産、財産、財力等の調査を行って落としていく、それが不納欠損の形でございますので、あくまでも全てが死亡者や不明者ではないというふうに御理解を賜りたいと思います。

第2点目の入湯税に際しましては、町条例141条から151条までの間に関しては、入湯税の課税の免除という項目がございます。課税の免除者については、年齢12歳未満の者、身体障害者手帳保持者、療育手帳保持者、精神障害者保健福祉手帳保持者が免除になり、減免事項については条例では定めておりません。以上で答弁とさせていただきますので、御理解賜りますようお願い申し上げます。

○議長（小椋孝一君） 総務学事課長、前田君。

○総務学事課長（前田勇人君） 美濃良和議員の再々質疑にお答えをさせていただきます。

負担金のほうは、負担割合は少ないほうがいいのじゃないかということでございますが、当町は10分の4から10分の6の間の10分の5ということで真ん中をとらせていただいております。これにつきましては、お隣にございます海南市も同様の10分の5ということでございますので、足並みはそろえてございます。そういったことで御理解を賜りたいと思います。

○議長（小椋孝一君） しばらく休憩します。

休 憩

（午後 0時23分）

再 開

○議長（小椋孝一君） 休憩に引き続き会議を開きます。

引き続き、歳入について質疑を行います。

(午後 2時00分)

○議長 (小椋孝一君) 6番、西口 優君。

(6番 西口 優君 登壇)

○6番 (西口 優君) 成果表の8ページの不納欠損というところの固定資産税、こういうふうな物件があるのに不納欠損というのは、ちょっと何か釈然とせんわけよ。だから、本来はその物件が、その物に対して税金がかかってんのやさかい、必ずそういうふうなものがあるという。そうしたら、それを何とかする方法はないんかいなと、こう思ってしまう。これ、素朴な疑問なんやけどね。

それと、先ほどからの話の中に債権回収機構というんかな、そういうふうなところが。大口はそういうふうにして回収すると言うてたけど、さっきの答弁を聞いてんのにね。だけど、それは小口も本来はそうすべきやな。ただ、費用対効果とかという部分があるから、それはどないなってるのかいなど、こう思ってしまう。

それと、こういうふうな5年で時効とかという部分、本来はそういうふうな時効があったら、そういうふうな逃げた人、逃げたと言ったらおかしいな。払わんで済んだ人が次の人に話が進んでいったら、そういうことが影響していく。だから、そういうことがなくなるようなね。もちろん極力、税金は絶対払わなあかんのやと、時効というのはほとんど存在しないという、こういうふうなやっぱり持っていかなかったら、わずか5年で時効になってしもとるんじゃつまらんから、やっぱりそういうふうな。公平性とかということ考えたときには、税金は本来払うべきなんよ。

だから、やっぱりそういうふうな不公平が出ないように、どんなに考えてるのかちょっと聞かせてもらいたいと思います。

(6番 西口 優君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 税務課長、西岡君。

(税務課長 西岡秀育君 登壇)

○税務課長 (西岡秀育君) それでは、西口議員の質疑にお答えをいたします。

固定資産があるのに何で時効になるのかというような御質疑でございます。固定資産税の不納欠損でございますが、まず死亡者、居所不明者に際しては、差し押さえ通知及び換価通知の手続きができない、本人には届かないということと、換価する際には、名義の変更ができないという問題があります。

また、金融機関等で融資を受ける際には抵当権の設定がされ、その後、納税者の都合

で納税ができなくなった場合は、抵当権の順位が優先となり、換価の際には裁判所から交付要求書が届き、競売後、債権現在申立書の発送があり、配当があれば裁判所で配当をいただくという仕組みが1点でございます。

また、現在不納欠損になっている物件に際しては、5年前の物件ということになりますので御了承をお願いしたいと思います。

次に、回収機構の費用対効果でございますが、本年は負担金として支払いいたしました金額、この年の決算額では基礎負担割額10万円、実績割は2年前の実績割、493万84円の10%、49万3,000円、1件6万円当たりの9件で113万3,000円、26年度の回収金額は467万4,224円となっております。

また、回収機構においては、徴収金額だけではなく、回収機構へという形での広報効果が多大であると考えております。また、今後の税に対してのことではございますが、今後の徴収体制としては、徹底した財産調査、居所調査による執行停止等を含め、町財政の基盤を支えていただいている全ての納期内納税者との公平感を保つため、能力・資力のある滞納者に対しては、厳正な滞納処分を行い、税の確保に努めたいと存じておりますので、御理解賜りますよう、よろしく願いいたします。

先ほど、西口議員がおっしゃってございました時効の中断の件でございますが、26年度の実績といたしまして、差し押さえ件数50件、行なっております。以上でございます。

(税務課長 西岡秀育君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) ほかに質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 (小椋孝一君) これで歳入についての質疑を終わります。

続いて、歳出1款から2款について質疑を行います。

5番、田代哲郎君。

(5番 田代哲郎君 登壇)

○5番 (田代哲郎君) 歳出について質疑を行います。

歳出、2款総務費、ページは40、41ページです。総務費の構成比は、成果説明で9.4%となっております。1項総務管理費、1目一般管理費、2節給料、支出総額7,754万2,963円、不用額は662万2,037円となっております。平成25年度の不用額は240万2,086円でした。

それから、第3節の職員手当、支出済額5,305万177円、不用額392万3,823円です。減額補正は途中で1回給与はやっていますが、減額補正してもなお不用額が平成25年度決算よりもかなりふえている原因は何でございましょうか。

次に、42ページ、43ページをお願いします。19節負担金補助及び交付金で北方領土県民会議負担金を毎年度同じ5,000円の計上です。申し上げておきますけど、この支出に反対ということではありませんので、誤解のないようにお願いします。千島列島を北方領土としか呼べない国が、千島列島について北方領土としか呼べない経緯については、しっかり認識した上での支出を行ってほしいと思いますが、いかがでしょうか。

それから、2目文書広報費はページ42から43です。11節需用費、印刷製本費245万5,920円です。これは、広報きみの印刷製本費であります。かねてから再々、予算のときも申し上げたんですが、ですから提案という形を行えないんですが、せめて表紙だけでもカラー印刷にしたほうが、やっぱりほかの自治体の広報と比べてもいいんじゃないかという。ずっと白黒のままの表紙で、1月号だけがカラーなんですけど、あとは全部白黒なので、やっぱりカラーにしたほうがいいんじゃないかと思いますが、この辺についてはどうでしょう。

46から47ページに移ります。6目電子計算費で13節委託料です。社会保障税番号制度移行に伴うシステム改修委託料973万6,200円です。先ほど、歳入のところで質疑させていただきました補助金をここへ使っている事業です。主要施策の成果説明書の5ページに説明が載っております。5ページの6電子計算機の説明のところに、いっぱい社会保障税番号制度に伴うシステム改修委託料ということで、社会保障税番号制度に対応するために住民基本台帳システム、地方税務システム、団体内統合宛名システム、国民年金システム、介護保険システム、国民健康保険システム、後期高齢者医療システム、児童福祉システム、障害者福祉システム、健康管理システムについて、システムの改修作業を実施しましたと。改修作業を実施したということで、これらのいわゆるシステムをどうしたのかという、ちょっとイメージとしてはできんから、こういうデータをどういうふうになるようにシステム改修をしたのか、そのあたりのことをできるだけわかっている範囲で詳しく説明をお願いしたいと思いますが、よろしくをお願いします。行政用語ではなしに、誰でもわかるようにお願いいたします。

これは48、49ページですが、19節負担金及び交付金、県自治体セキュリティ対

策協議会が11万円、地方公共団体情報システム機構負担金というのが98万1,000円の支出です。この二つの支出費用と、二つの支出先の活動、どういうあれなのかをお願いいたします。

それから、50、51ページで自治振興費、9目です。13節委託料、コミュニティバス運行委託料3,500万円の支出です。主要施策の成果説明書の7ページで運行内容が載っていますが、上ヶ井・箕六線以外は全て乗車人員が減っています。

それと、私、町で聞くのに、何か苦情が多いという、苦情をよく聞きます。そこで伺いますが、実際に職員の方等が乗車して利用者の意見を聞くような活動はされていないのかどうか、お願いいたします。

それから、52、53ページです。11目諸費、19節負担金及び交付金で、例によって県防災協会に1万5,000円が支出されています。防衛協会については、県の機関紙ではないんですけど、連合会の機関紙で7月1日発行の防衛協会報というのがありまして、その記事をちょっとダウンロードだけで、これは印刷でプリントアウトできないので。ただ、記事が載ってまして、主張です。これまでの日本の安全保障法制には幾つもの切れ目が存在しており、本法制はという。要するに、安全保障法制のことを言うんですが、あらゆる事態にシームレスに対応して、我が国の国家と国民を守る防衛体制を構築するための整備であるというふうに政府の説明と同じ説明が載ってまして、本法制は重要法案であり、今国会は会期が大幅に延長されて審議が行われる。戦後70年間の安全保障政策の大きな転換を迎える法整備であり、自衛隊の行動や活動に新たな根拠を与える法案で、成立が期待されるというふうに、明らかに防衛協会として成立を期待しているという、コメントですね。

それで、こういうふうに以前は、でも憲法改正という方向へ行ってほしいというような主張も言ったんですけども、いわゆる安全保障法制、我々は戦争法案と呼んでるんですが、その成立を期待すると主張するような団体に補助を出すということは、行政として適当なのかどうか、お願いいたします。

それから、あとは防災諸費で54ページと55ページです。14節の使用料及び賃借料で電波使用料11万1,100円です。25年度では43万3,000円の支出がされていますので、当初予算も43万6,000円の計上になっていますが、金額的にはそんなに大きな金額ではないんですけど、当初予算より大幅に減額しているのはなぜなのか。

それから、18節備品購入費で支出済額が3,484万9,000円なんですけど、発電機など避難所の防災用備品ということで3,185万6,000円、それから気象観測用備品ということで299万2,500円とかいろいろありますが、928万8,000円の不用額は何か。

この件についての質疑は取り消します。ちょっと金額が間違っているようです。以上でお願いします。

(5番 田代哲郎君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) しばらく休憩します。

休 憩

(午後 2時25分)

再 開

○議長 (小椋孝一君) 休憩に引き続き会議を開きます。

(午後 2時25分)

○議長 (小椋孝一君) 町長、寺本君。

(町長 寺本光嘉君 登壇)

○町長 (寺本光嘉君) 田代議員の御質疑にお答えをいたしたいと思います。

43ページ、北方領土県民会議5,000円の件でございます。これにつきましては、今さら申し上げるまでもなく、予算を上程させていただいたときに皆さん方に御了承いただいて、そして予算づけをしていただきました。その予算づけのとおり実施していますので、ひとつ御理解を賜りたいと思います。

ただ、私自身は、択捉島等、四島におきましては日本国有の領土であるという認識のもとに、県民会議の皆さん方とともに行動しているということだけ申し添えます。

それともう一つは、53ページ中ほどに県防衛協会、これの執行においても、その当時予算づけの際に皆さん方と御協議をいただき、そして御承認をいただきましたので、そのとおり執行させていただいたということでございます。行政として、この支出が適当かというような御質疑でございましたので、これは適当であると。したがって、執行をさせていただいたと、こういうことでございますので、御理解を賜りたいと思います。以上です。

(町長 寺本光嘉君 降壇)

○議長（小椋孝一君） 総務課長、牛居君。

（総務課長 牛居秀行君 登壇）

○総務課長（牛居秀行君） 田代議員の御質疑にお答えを申し上げたいと思います。

まず、40ページ、41ページでございます。職員給与の不用額667万2,037円ということで、それとその下の職員手当392万3,823円、これが平成25年度の決算額よりも不用額が多いということでの御質疑であったかと思えます。これにつきましては、職員の中で病気のために休んでおられて、いつ復帰できるかわからないというふうな状況の職員が1名ございました。その中で1名分を最後まで残しておったところの中での大きな不用額になったということで御承知いただければと思います。

それから、43ページでございます。43ページの北方領土の県民会議については、町長が答えてくださったとおりでございます。

それから、文書広報費の中の印刷製本というところで広報をカラー印刷できないのかということでございます。これにつきましては、広報は毎月出ておりまして、町の大切な情報を町民の皆さんにお知らせをする大切なものであるという認識は持っております。その中でカラー印刷できないのかということでございますが、そのことにつきましては当初予算のときにも御説明を申し上げましたけれども、苦しい財政状況の中で、今こういった状況で進めさせていただいておるところでございますので、御理解を賜りたいと思います。

それから、47ページでございます。社会保障税番号制度に伴うシステム改修973万6,200円、これもシステム改修を行ったその改修の項目につきましては、議員も御質疑の中で触れられました、成果表の5ページに掲示しておるとおりでございます。その個別具体的なそのシステム、どういうふうな改修を行ったのかということでございますが、これにつきましては先ほど来ずっと申し上げてます税番号制度がございまして、その番号制度に対応できる改修ということで、ちょっと御勘弁願いたいと思います。個々の細かな技術的な、どこをどうしたかという、そういう改修内容につきましては、ちょっと答弁できるだけの知識を持ち得ませんので、お許しを願いたいと思います。社会保障等税番号制度の制度が始まりますので、それに対応できるシステムの構築をしたということで御理解を賜りたいと存じます。

それから、49ページでございます。自治体セキュリティ対策協議会と地方公共団体情報システム機構の負担金の中で、どういうふうなこれは協議会なんだというふうな御

質疑であったと思います。

まず、県自治体セキュリティ対策協議会でございますけれども、この協議会につきましては、和歌山県市町村30団体が加入している団体でございます。全ての自治体が入っている団体ございまして、情報セキュリティに関する研修、事業を行うための協議会でございまして、研修につきましてはNPOの情報研究所に委託してございますけれども、現在、事務局は九度山でございまして、この事務局につきましては2年に1回の割合で各市町村が持ち回るというふうになってございます。活動内容につきましては、県下市町村の電算担当者を集めまして、情報セキュリティとかマイナンバーに関する研修であるとか、そういったものを行っておるところの協議会でございます。

それから、地方公共団体システム機構というのは、これは当初のときもちょっと説明をさせていただきましたけれども、政府が委託をしている機構でございまして、中間サーバーのプラットフォームを形成したり、今度10月から配られますマイナンバーの付番、そういう付番をしているところでございます。そしてまた、個人番号カード等の作成も行います。そういった団体でございます。

それから、51ページでございます。コミュニティバスの運行委託料ということでございます。成果表の6ページにその運行の状況が示されてございます。議員、今御質疑の中で、職員がバスに乗り込んでいろんな聞き取り調査とかそういうことをしておるのかという御質疑であったと思いますが、そのことは行ってございません。

それから、53ページの県防衛協会は、町長の答えたとおりでございます。

それから、55ページでございます。55ページの14節使用料及び賃借料の電波使用料。電波使用料が前年度に比べて少ないじゃないかという御質疑でございます。確かに、平成25年度では43万3,078円でございます。安くなっておるんですが、近畿総合通信局に今支払っている電波使用料でございまして、これにつきましては電波の使用料金の改正がございまして安くなっておるものでございます。以上でございます。

(総務課長 牛居秀行君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 5番、田代哲郎君。

○5番 (田代哲郎君) 給料の不用額は、要するに病気で休んでいるのに、だから途中で減額はしたんですけども、そのまま不用額として計上せざるを得なかったということで、これはわかりました。

千島列島の北方領土県民会議の負担金ですが、別にこれ、だめですとか不適當ですと

かということ saying はないんで、ただ、私たちの認識では、千島列島とこの領土を呼んでるんですが、それは国後、択捉から一番北の占守まで、全千島は、これは日本とロシア間で19世紀に結んだ条約によって、平和的に確定された日本の歴史的な領土でした。もちろん、歯舞、色丹はもともと北海道の一部です。

ところが、第二次世界大戦でソ連のスターリンが千島列島の引き渡しを要求して、アメリカとイギリスはこれを認めました。しゃあないなということじゃないんですけど、よこせと言って。だから、当時のソビエト連邦とアメリカ・イギリスとの間でこれは話し合われて、勝手にこれを認めてしまったと。それに従って当時のソ連が全千島を、いわゆるソビエト連邦に併合して、もともとそのときに北海道の一部だった歯舞、色丹まで占領してしまったというのがその経過です。

日本政府は、1951年に締結したサンフランシスコ条約で、このときに千島列島の領有権と請求権を放棄するという条文がありまして、そのときに歯舞、色丹を含むのかという国会での質問に、それも放棄した列島に含みますということ、間違った答弁をした経緯があります。

本来、そういう幾ら日本が戦争に負けたといっても、領土問題を不公正に決めてしまったということをやっぱりきちっと認識しておくべきだと思います。だから、サンフランシスコ条約に放棄条項があるからといってそれにとらわれず、本来は全千島の返還を求めることが筋であって、北海道の一部である歯舞、色丹は即時返してくれと外交的に迫るのが普通だと思います。

でも、私たちはだからその4島が返ってくることを求めることについて、それは間違ってるからやめとけということでもないし、そこに対する補助金が間違っているということでもないんで、そういう歴史的な経過をきちっと知っておいてほしいということだけでありますので、その辺は誤解のないようお願いをいたします。

文書広報費、それは予算のときに言うべきやないかと。予算のときもずっと言い続けてきてるんですが、そのときに言って、いい返事はいつももらってないんです。だから、聞きたいのは、そういうふうカラー印刷にしておけば、もっと読書意欲がどうか、それを読んでくれる人がふえるんじゃないかという、それだけのことで、してくれと言うてるんじゃないんで、それは予算のときにまた申し上げます。

ただ、結果として、今のあれはそういう白黒のままなんで、非常にそれで下がってるのかどうかを実際に調べて回ったわけじゃないんですから、あれです。

電子計算機のマイナンバーでどうつなぎ合わせるんか、難しいんですよね、実際は。今、こういったデータというのはばらばらにあるんですよね。データは、サーバー、ホストコンピューターですか、あそこへは行ってるけども、それを出せるのは各課ごとにしか。国民健康保険のデータは、住民課からしかできないし、介護保険は保健福祉課からしかできないし、税務に関するデータというのは、税務課でしか取り扱えない。それは、暗証番号でそうなっているんかとかそこらのことはわからないんですけど、それを1カ所にまとめて、要するに中間サーバーへ1個にまとめて持って行くわけですよね。それで、ほかの自治体からも中間サーバーのポータルサイトへアクセスすることで、そういう町内の人の預金情報であるとか。預金情報はここにはないんで、銀行ですけど、銀行にある預金情報であるとか、そういうのをデータとして使えるということで、そういうことでいいのかな、そういうことなんかだと、僕はそんなに理解してるんですけど、その辺もう少し、それでいいんかどうかお願いします。

セキュリティ対策協議会については、わかりました。例えば、プラットフォームを構成するということでもありますので、それにしても付番するので、ずっとそれを整理していくのは大変だと思うんですけど。

自治振興費のコミュニティバス、どんなこれは苦情あるんやって、ちょっと余り言えないというか、余りそういう言いたくないんですけど、いろいろこれは。一つ聞いたんは、これは解決したと聞いてるんですが、この9月からですか、ダイヤ改正するときに、いわゆるコミュニティバスと路線バスとのあれができてなくて、路線バスに乗れないようなダイヤになってたということがありまして、それは直接総務課のほうへお願いして、相談してくださいということで言ったら、電話か何かして、ダイヤを入れかえてくれたということで。ただ、これも予算のときに言うべきなんで、乗ったほうがええやろうとかなんとかというのは言わないんですけど、ただ現実さっきも言いましたように一定の路線、上ヶ井・箕六線以外は全て乗車人員がこの25年と26年度の間でこれ見たら減ってるんですよね。このまま行ったら、また便数を減らしてとかという問題が出てくるんでそういう心配をしたわけで、あえて乗られたらいかがですかというような提案はいたしません、予算やと言われるから。

防衛協会、ちょっとあれですけど、今、国会で大詰めを迎えているんですが、今の日本の自衛隊の存在価値というのは、ここでまた国のことを言うてもあかん、何もあれやないかと言うけど、災害救助とそれから災害復興支援と、そして攻められたら守るよと

いう、いわゆるこれは昔から専守防衛と言ってきたんですけど、攻められたら国を守るために武力を使うという、この三つで、これが自衛隊の存在意義だというふうに、歴代政府はずっと説明してきたんです。

それで、ところが以前から防衛協会の主張というのは、自衛隊員に外国で武器を使えるようにしてくださいという要望書をずっと出してまして、ことしも6月30日に、平成27年度防衛問題に関する要望書というのを防衛省へ出かけて行って防衛事務次官に出していますが、はしょってみますと、この中でも国際平和協力活動、PKOが効果的に行われるように、武器使用基準を他国並みに見直すことが必要と考えます。今、PKOへ参加してるのは、南スーダンです。そこで自衛隊は一体何をやっているかと、一番得意な復興支援をやっています。非戦闘区域と昔言ってた、活動している間、そこが戦場になることはないと思えられる地域で、大丈夫やという地域へ行って、それでもわかりませんが、そこで一生懸命道を直したりというような復興支援をかなり力を入れてやっています。

今度の私たちが言う戦争法案、平和安全保障整備法には、その防衛協会が毎年要望してきた、そういう平和維持活動で武器を使えるようにしてくれという希望どおりに、法律がそういうふうに改正するあれが載っています。そういうことがあるので、それが盛り込まれて、まさに今、大詰めのところへ来ているんですが。

もう一つ言わせてもらおうと、この戦争法案というのは、こんなネーミングするなというふうに言われるんですけど、戦争法案そのものだと思うんですけど、この審議中に自衛隊員の統合幕僚監部から、最高機密文書が2回にわたって我が党へ内部告発されました。その一つについて、防衛省はこの文書はありますということで認めたんですが。だから、これは何を意味しているかと。自衛隊幹部の中にもその任務は、専守防衛と災害救助、復興支援という活動に自衛隊というのは専念すべきものだというふうに、そういうことこそやっぱり自衛隊員を応援するというか、そういうことを一生懸命やってくださいという環境を、安心してできる環境を整えることが、自衛隊を応援することになると私たちは考えてます。

だからどうでしょうというわけで、武器を使えるようにしてほしいということで国に要望して、それが今、実現しようとしているんですが、そういうところへの補助というのは、今、補助するほうもそれを肯定しているんかいということにならないかということ懸念しますので、この問題を取り上げさせていただきました。そういうことで、ど

うなんかと思います。

それから、あとは防災諸費については、よくわかりました。以上です。

○議長（小椋孝一君） しばらく休憩します。

休 憩

（午後 2時49分）

再 開

○議長（小椋孝一君） 休憩に引き続き会議を開きます。

（午後 2時53分）

○議長（小椋孝一君） 総務課長、牛居君。

○総務課長（牛居秀行君） 田代議員の再質疑にお答えをしたいと思います。

もう既に1回目の答弁で御納得してくれたところについては割愛させていただきます。

まず、社会保障税番号制度施行に伴うシステム改修の委託料の話でありますけれども、議員が御質疑の中で述べられたその見込みのとおりでございます。

それと、あとは51ページでございますが、コミュニティバスの運行委託料のところ
で議員がお触れになりました時刻表の普通のバスとの関係があつて、ちょっと都合が悪
いところがあつたという、その話につきましては、実は新龍光寺橋をするために旧龍光
橋を通らずに時間表を変えておりました。この9月10日から新しい時間表にしなけれ
ばならないということで通知をさせていただいたんですが、それがちょっと今言ってい
る時間がちょうど、年に1回か2回しか使わないらしいんですけども、ちょうど連絡が
合わないということでございましたので、それをお聞きしまして、即9月10日から実
施している時間表ではそういうことがないように、今対応をさせていただいたところ
でございますので、現時点におきましてはそれは解消できておるということでござい
ます。

それから、職員がバスに乗っているいろんな意見を聞いたかどうかというお話だと思
いますけれども、コミュニティバスに関しますいろんな苦情であつたりとか御要望につ
きましては、直接役場のほうに電話を下さっておりますので、それにつきましては個別
具体的に御説明申し上げたり、開示をさせてもらつたりしているところでございま
すので、御理解を賜りたいと存じます。

それから、あとは全部御納得していただけたものと考えますので、以上です。

○議長（小椋孝一君） 答弁漏れです、43ページ、印刷製本費の。

○総務課長（牛居秀行君） この広報につきましては、当初お認めをいただいた形で執行させていただいておりますが、先ほども申しあげましたように、広報というのは大切なものでございます。ただ、白黒であるから読んでおらないという意識は持ってございません。より魅力があるものにせえということはよくわかりますけれども、現時点におきましても町の情報等を掲載しておりますので、それぞれの御家庭におきまして御利用をいただいておりますものと考えてございます。以上でございます。

○議長（小椋孝一君） 町長、寺本君。

○町長（寺本光嘉君） 田代議員の御質疑にお答えをいたしたいと思えます。

43ページの北方領土県民会議でございますが、十分理解した上で執行せえというおしかりをいただきましたが、私なりに理解しているつもりでございます。しかしながら、おっしゃられることも一理あるかと思えますので、今後ともさらに勉強して皆さんとともに同じ行動をしてまいりたい、そのように思えます。

それと、県防衛協会、これは行政として適切かと。私は、適切だというふうには理解しておりますが、また今後とも皆さん方と協議をしながら進めていきたいと、そのように思えますので、ひとつ御理解を賜りたいところです。以上です。

○議長（小椋孝一君） 5番、田代哲郎君。

○5番（田代哲郎君） いわゆる、北方領土の県民会議のことについては了解をしているということで、またお願いしますと言うたら、あかんと言われるから、そういうふうには理解させていただきます。

電子計算機、これちょっと私の言うてるようなあれでいいのかなという、認識でいいんですかという問いかけもしたんですが、それでいいんですよね。いいんですよって変ですけど、そういうことですよ。一つに集めて。それであれば、よほど気をつけないと、非常に何か被害があれば自治体がもろにあれをこうむらんなんので、恐らく中間サーバーのセキュリティの脆弱なところを狙い撃ちして、始まったら、来年の1月になったら、そこが集中的なサイバー攻撃を受けると思えます。だから、そういうことも念頭に置きながら、やっぱりほんまに慎重の上にも慎重。人間がやることで100%安全ということはないわけですから、慎重の上にも慎重に対応してと思っております。

それから、自治振興費はそういうことで、いわゆる防衛協会も余り言うとお互いにある。ただ、今度の9月11日に。こんなんせえと言うんじゃないですよ、誤解のないようにしてください。尼崎市の市長と、それから芦屋市の市長、宝塚市の市長と、こん

なんちょっと珍しいんですけど、篠山市の市長もあって、こういう法案に反対で共同声明を出したんです。こんなん非常に珍しい例で、ここに市長とか町長が議会に来て、私はこの法案に反対しますと言うたところは結構ありますし、記者会見等で聞かれて、私は反対ですと言われた例もあるんですけど、こんな大きな四つの市の市長が共同声明を出すというのは初めてのことで、非常に珍しいことです。

要するに、憲法をないがしろにすることなんで、地方自治の立憲主義の破壊というのは、あれはよく学者は言いますが、立憲主義を基本とする行政の根幹にかかわることと受けとめざるを得ませんということで、釈迦に説法でそんなことを、おまえにわざわざ言われなくてもわかってると、行政の責任・使命というのは憲法を守ることとも使命に含まれますので。

それと、自衛隊を応援する支援団体というのは、隊友会というのは公益法人だから補助の対象にはならないと思うんですけど、ほかにも社団法人で自衛隊応援協会というのを御存じだと思うんですけどあるんです、これも全国的な活動をしています。そんなほかにもあるやろうと思うんですけど、それで何で防衛協会なんかなという疑問もありますので、一応疑問として述べておきます。以上です。

○議長（小椋孝一君） 総務課長、牛居君。

○総務課長（牛居秀行君） 田代議員の再々質疑にお答えを申し上げます。

議員おっしゃるように、確かに中間サーバーのプラットフォーム、これが仮にサイバーテロの標的になるとすれば、やはりこれが一番大きいかと思います。我々も、県・国の御指導を仰ぎながら、セキュリティに心がけていきたいと思っておりますので、御理解を賜りたいと存じます。

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ありませんか。

11番、美濃良和君。

（11番 美濃良和君 登壇）

○11番（美濃良和君） それでは、幾つかお聞きしたいと思います。

41ページなんですけど、ここで時間外勤務は、一般管理費の中の3の職員手当の中で時間外勤務手当が105万7,019円と、前年に比べたら、前年は48万5,000円ですから、かなり多くなっていると思います。時間外勤務手当というのは、今年度全体で見てどれぐらいあるのか。このところの一遍その数字を聞きたいと思っております。

それから、システムデータの更hands手数料というのが41ページの役務費の中の下から

三つ目にあるんですけども、かなりシステムデータの更新等はこの予算の総務費の中でも多くあると思うんですね。これ、全部でどれぐらいになっているのかお聞きしたいと思います。

それからちょっと戻っていただいて39ページなんですけども、議会費なんで申しわけないんですけども、役員費、12節、この中で通信費として9万8,864円というのが上がっています。議会もやはり勉強していかなければなりません。当然、勉強していただいて、執行部のそれぞれ皆さんが勉強されているように、議会も勉強していかなくてはならんわけですけども、パソコンも置いてもらっているんですが、これがネットにつながってないんですよ。要するに、作業をするだけにしか、ワープロ的な作業しかできへんと。そういうことでありまして、ネットにつないで議会も勉強できるように、その辺をつないでいただければ、さらに議会のそれぞれの勉強もできると。そういうことで、本当は1年間やっていただいて、私どもはやっぱりまだまだ十分でない、こう考えるわけですけども。

43ページにちょっと聞かせておいてもらいたいんですが、先ほどから述べておられる、2款1項1目の中の負担金補助の中の北方領土なんですけども、町長、1年間やっていただいて、県民会議のほうにも行かれているということでお話ありましたけども、やっぱり我々、日本の領土は日本の領土なんですから、北の一番端っこの千島のあそこまで当然日本のものになれば、水産、要するに魚とか、それだけ日本のものになってくるわけなんですけれども、その辺について1年間やってこられた中で必要と。日本の領土ですから、当然日本のものにしていくということについてはどうであるのかお聞きしたいと思います。

45ページなんですけども、企画費です。企画費がありまして、ここで需用費、11節、修繕料137万5,910円、これについてお聞きしたいと思います。

それから47ページ、2款1項5目の中の19節、ここで若者定住促進補助金の650万円、前年に比べてちょっと減ってるんですけども、このところの成果ですね、どうであったのか。

それから、まちづくり支援補助金というのが新規に使ってきているわけですが、それについてどうだったのか。前年見てみましたら、コミュニティ助成事業助成金が250万円あって、それから過疎集落再生活活性化支援補助金というのもあったんですけども、それがなくなっていますよね。それらとあわせて、この成果、聞きたいと思います。

それから、補償補填及び賠償金の22節ですが、そこで1,000万円が結局不用額になってしまったんですよね。これについて、開発公社との関係ですけども、26年度はどのようなことをされたのかお聞きしておきたいと思います。

それから49ページ、先ほど田代議員が聞いたので、49ページの支所及び出張所で2款1項7目ですね。ここで7節賃金があって、239万4,530円、臨時なんですけども、この紀美野町はかなり臨時が置かれているんですけども、臨時職員の待遇、どうであるのかお聞きしたいと思います。

それから、12の役務費ですけども、役務費の中に自動車損害保険料というのが2万7,800円余り上がっております。前年ともなかつたりして、出張所・支所で初めて車を置いたのか、そのところをお聞かせいただきたいと思います。

2款1項の9目、自治振興費、これは区長とかが予算の中に入っているかと思うんですけども、地区駐在員という待遇というんですか、役割というのはどうであるのかお聞かせいただきたいと思います。

そして、コミュニティバス運行委託料で3,550万円計上されておりますけども、前年は3,500万円50万円アップされて、これはどういうふうな運行をされてきたのかお聞きしたいと思います。

そして53ページ、しぶといこと言うなって言われるかわかりませんが、諸費の中の県防衛協会費、これで結局、歳入のところでも21ページに総務費国庫委託金の中の自衛官募集事務委託料で2万円があって、町として防衛協会とも自衛隊の勧誘を進めるということになってるんじゃないかというふうに思うんですけども、自衛隊が自衛隊のままであったならば、災害活動に来てくれたり、日本が攻められたときのみ戦うということなんですけども、だんだんだんだん25年、6年あたりからそういうふうな状況が変わってきている中で、入ってくれた方々が6名もおられるということなんですけども、どういうふうな形で入ってくれて、そして今どんな状況にあるんかということをつかんでおられるのかお聞きしたいと思います。防災諸費の中にも時間外がありますね。

そして、55ページに2款1項12目の中の委託料13節、ここにJアラートのシステム委託料というのがあって、これはこちらの成果表の8ページにJアラートとして地震速報や警報等を十分に知らせるための中間装置であって、老朽化した装置を更新する必要があるため実施したと。これで余りJアラートが働いたというのは1回か2回ぐらいしか私はわからんのですけれども、どういうふうなところがどういうふうに変わられ

たのか、聞いておきたいと思います。

それから、57ページに賦課徴収費、2款2項2目、役務費ですね。その中に預貯金口座残高確認手数料として2万円余りがありますけれども、これをお聞きしたいと思います。以上、よろしく申し上げます。

(11番 美濃良和君 降壇)

○議長(小椋孝一君) 総務課長、牛居君。

(総務課長 牛居秀行君 登壇)

○総務課長(牛居秀行君) 美濃議員の御質疑に順次答えていきたいと思ひます。

まず、39ページでございます。そこで議会費の役務費ということで通信費9万8,864円が計上されてございます。これにつきましては、祝電とか弔電、そういったものに使われた費用でございます。その中で議会のほうにもそういったパソコン、そういったネットのものを置けという御要望があったかと思ひますが、それについてはちょっと検討させていただきたいと思ひます。この決算につきましては、弔電とか祝電などの予算でございます。

それから、41ページの一般管理費の中の職員手当等の中で、時間外勤務手当の御質疑があったかと思ひます。確かに、時間外勤務手当につきましては、平成25年度におきましては48万5,737円という決算額でございます。26年度につきましては、105万7,019円という決算額になっております。この項目での時間外手当といひますのは、主に災害とかそういったものに要したものでございまして、災害や県議員、衆議院、参議院等の26年度には一応選挙もございましたので、それも加味されてございますので、25年度とは大きく増加になったものでございます。

それと、全体ではどうなのかということでありまひす。一般会計全体の時間外手当につきましては、平成26年度におきましては3,243万6,375円でございます。平成25年度におきましては、2,242万9,753円ということで、約1,000万円アップになってございます、全体ですね。この増加要因につきましては、先ほどちょっと触れさせていただきまひしたけれど、平成26年度におきましては、県議会選挙、衆議院、参議院もちょっと影響するんですが、そういう選挙がございましたので、そのことによりまして大きく時間外手当が出ています。それと、やはり台風が平成26年度は幾つか来まして、その待機をするということで、ちょっと25年度とは違っていたということも大きな要因でございます。

それとあと、福祉課関係になるんですが、臨時福祉給付金事業というのもございまして、こういった25年度にはなかった事業が出てきたということの中で時間外手当もふえたということで御理解を賜りたいと存じます。

それでは次、同じページでございますが、システムデータの更新委託料、12節役務費ですね、同じ41ページの役務費の中のシステムデータ更新委託料で113万2,488円、これにつきましては、例規集のデータの更新でございます。平成26年度から例規集もネットに入れたということでございまして、その中でのものがございます。例規集のデータの更新料でございます。

それとあと、43ページでございます。北方領土県民会議の御質疑もあったと思っておりますが、これは先ほど町長がお答えを申し上げたとおりでございます。

それと、45ページでございます。45ページの企画費の中の修繕料でございますが、137万5,910円に対する御質疑でございます。これにつきましては、テレビのデジタル放送の設備の修理でございまして、アンテナでありますとかケーブル切断でありますとか、機器の老朽化による修理の費用でございます、主なものとしてそういうものがございます。

次に、49ページでございます。49ページの支所及び出張所費で7節賃金、臨時雇用の賃金239万4,530円についての御質疑がございました。これにつきましては、小川と志賀野の支所に今お願いをしております臨時職員2名分の費用の決算額でございます。

それから、議員御質疑の中で臨時職員に対する町の考え方、またその待遇はどうなっているんだという御質疑につきましては、本町におきましては少子高齢化や地方分権によりまして、行政需要が増大しております。また、人口減少に直面しておりまして、将来の財源増を期待することができない状態でございます。当町の事務事業の多くは人が直接行うサービスで、ID化や業務の効率化による人員削減効果は期待しにくく、行政ニーズの多様化・高度化に伴い、ますます人手が必要となっている状況であります。

しかしながら、厳しい財政状況の中、職員数を削減していかなければならない現状で、現在、臨時・非常勤職員の皆さんの力をかりなければ公共サービスが回らないという状況でございます。そういった状況でございます。

それと、待遇でありますけれども、待遇につきましては現在、賃金につきましては職種によって違いますが、5,800円から1万6,100円までの間で賃金はそういうよ

うな形になってございます。

それから、有給休暇につきましては、労働基準法第7条に基づく公民権行使の休暇であつたりとか、法第65条に基づく産前産後の休暇、法67条に基づきます育児休暇、法68条に基づく生理休暇などを設けております。健康診断の受診につきましては、社会保険の適用を受けている臨時職員、これは職員の5分の3以上の勤務をお願いしている方については、漏れなく社会保険に入っていただくことになっております。そういう職員の方につきましては、年に一度、職員と同じように健康診断の受診をしていただいているところでございます。以上、そういうところでございます。待遇についてはこういうところでございまして、今後、臨時職員の待遇につきましても、今後とも引き続きまして改善を検討していきたいと考えてございます。

それから、51ページでございます。51ページの2款1項9目、自治振興費の中の報酬でございます。地区駐在員、これは773万7,000円でございますけれども、これにつきましては区長64人分の報酬でございまして、世帯割が1,000円、均等割が6万円というふうになってございます。平成25年度と26年度を比べましてちょっと減っておりますのは、44世帯、25年度から26年度にかけまして減ったためでございます。

それと、コミュニティバス委託料、これにつきましては25年度はおっしゃるように3,500万円でございます。3,550万円というふうに50万円ふえてございます。これにつきましては、平成26年度から消費税が5%から8%に上昇してございます。そこで、本来でしたら3,600万円というふうな計算になるんですけれども、減便等をいたしました結果、50万円減っているということでございます。消費税とプラス減便をしたということで御理解を賜ります。

それと、申しわけございません。2款1項12目13節委託料のJアラートのシステム委託料199万8,000円、これは平成25年度にはございませんでした。平成26年度にいわゆるWindows7の対策ということで、もう既に今まで使っていた機械の更新が切れるということで、Windows7の対策をしなければいけないということで、Jアラートの連動自動起動装置設備更新事業委託をしたわけでございます。これは、サイバーリンクにしておるわけですが、そういったWindows7対策のために機器を更新したということでございます。

それから、53ページ。県防衛協会については、先ほど町長が答弁をさせていただい

たとおりでございますので、私からの答弁は割愛させていただきたいと思っております。以上、答弁いたします。

(総務課長 牛居秀行君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) しばらく休憩します。

休 憩

(午後 3時29分)

再 開

○議長 (小椋孝一君) 休憩に引き続き会議を開きます。

(午後 3時29分)

○議長 (小椋孝一君) 税務課長、西岡君。

(税務課長 西岡秀育君 登壇)

○税務課長 (西岡秀育君) 美濃議員の御質疑にお答えいたします。

57ページ、2款2項2目12節、役務費の預貯金口座残高確認手数料でございますが、これは滞納者の預貯金の残高確認、金融機関等が行うものでございます。以上でございます。

(税務課長 西岡秀育君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 企画管財課長、中谷君。

(企画管財課長 中谷嘉夫君 登壇)

○企画管財課長 (中谷嘉夫君) 私からは、美濃良和議員の質疑にお答えいたします。

ページが46ページの企画費の19節、負担金・補助金及び交付金の中の若者定住促進補助金の650万円についてですけれども、その実績につきましては新築が10件、増改築が2件、購入は2件ということで、14名の方が補助を受けられております。先ほど、25年度は730万円ということでしたけれども、25年度につきましては、当初650万円であったのを補正して730万円に増額をしておりました。それについては需要があったということです。26年度につきましては、650万円の予算に対して650万円の要望があったということでございます。

それから、まちづくり支援補助金216万2,000円につきましては、予算額が250万円に対して5団体の方が要望されましたので、それで216万2,000円とな

っております。

それから、続きまして、22節の補償補助補填及び賠償金の1,000万円ですけども、これは土地開発公社の補填金ということになっておりまして、当初、3件分を計上してたわけなんですけども、成果としてゼロということで、不用額の1,000万円ということになっております。

それから、49ページの12節の役務費、自動車損害保険料の2万7,840円につきましては、車検に伴う保険料でございます。以上です。

(企画管財課長 中谷嘉夫君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 町長、寺本君。

(町長 寺本光嘉君 登壇)

○町長 (寺本光嘉君) 美濃議員の質疑にお答えをいたします。

43ページの北方領土県民会議でございますが、1年間どんな活動をしてきたんかというようなお話であったと思います。実は、県民会議とそれから全国会議というのがあります。そして、県民会議からの会長は、知事、そして県議会議長、そうした中での構成がされておまして、そして全国会議があり、全国会議のほうから首相に対して陳情書を出していくと、こういうシステムになっております。

そんな中で近年を見ますと、プーチン大統領の言っていることと、またその下の某首相が択捉、また色丹、そちらのほうへ現地赶赴いて、そしていろいろ島民と話をしてることと全く違う、そんなような状況も出てきております。そんな中でございますが、やはり田代議員のときにも私が申し上げましたとおり、千島列島、これは日本固有の領土であるということをお互いに認識をして、さらにこれからもそうした行動を進めてまいりたい、そのように考えるところでございますので、御理解を賜りたいと思います。

それともう一点、これも田代議員のときに御説明させていただいたんでございますが、防衛協会、これはやはり紀美野町内にも自衛隊に入隊されている方々がたくさんいらっしゃいます。そしてまた、除隊された方もたくさんいらっしゃいます。そんな中で、やはり町としてこれからもそうしたことで後押しをしていきたい、そうした思いは変わっておりませんので、これからもこれについてはまたさらに取り組みを行ってまいりたいというふうに考えておりますので、御理解を賜りたいと思います。以上です。

(町長 寺本光嘉君 降壇)

○議長 (小椋孝一君) 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） 41ページの時間外勤務について、1,000万円ふえたということで答弁いただいたんですけども、実際、町長、合併によって人減らさなあかんというふうなことになってますけども、減らさなあかんにも限度があるということをやっぱり考えとかなんだら、大変なのは、それは予算の上では大変ですし、さらにまた大変なことに、国のほうはしようかというふうなところがあるんですけども、町長も人間を預かってる身ですから、相手は機械と違うんで人間ですから、やっぱり人として考えて対策を考えなきゃならんんじゃないかなというふうに思うんですが、それについてお聞かせ願いたいと思います。

それから、北方領土は了解しました。

企画費の中の需用費の修繕も了解しました。

それから、49ページの支所及び出張所の関係で、今、車検に伴って自動車損害保険料というのが発生したんだということで答弁があったんですけども、前年と比較してもどうもここに車があるように見えんですけども、車検手数料は前年ないし、大体2年に一遍と考えると、これでええんかなというふうに思うんですが、こうなるんかな。

それから、ここのを見ると、賃金ですね。

○議長（小椋孝一君） ページ数を教えてください。

○11番（美濃良和君） 同じところです。同じところに賃金があるんですが、7節、ここで今答弁されたのは、一応いろんな福利厚生的なことはやってるというふうな答弁でしたよね。あと、行政需要の不足とかそんなんがあったので必要だと、そういうふうに言われまして、何にしてもこのところでこれも人間を減らしていく、町の正職員減らしていかなきゃならんというところから、こういうふうなところに臨時の方々が入ってきてくれて、頑張ってくれてるということなんでしょうけれども、やっぱり仕事もそれぞれに一般職、それから出張所ですから恐らく余り人がいてないところで働いてくれるんでしょうけれども、本当に正職員と変わらんような仕事をしてくれてるわけですから、もう少し今ちょっと答弁、僕メモが抜けたんかわかりませんが、そのところで考えていただくということについて、もう一度御答弁いただきたいと思います。

それから、区長はわかりました。

53ページ、防衛協会について、応援していくということで答弁いただいたんですけども、何にしても状況変わってきてるし、ここ数年本当に状況が変わってきている中で、実際、自衛隊の中での訓練の内容も変わってきたと。既にこの間から国会でも言っ

ているように、自衛隊の幹部、上のほうの人らは来年2月から南スーダンにPKOの駆けつけ任務ですか、要するに今までの土建業のああいうふうな水道とかいう仕事だけだったのが、今度は来る人間をとめて確認すると。それで、テロリストやったら捕まえていくという、そういう仕事を今度、来年2月からのようなんですけども、かなり危ない仕事であって、専門家、イラク派遣の仕事をやった方も、今度は犠牲者が出るやろうと、そういうように言われているんですけれども、そういうふうなことのせっかくの私たちの町の若者ですし、町民の皆さん方もそんな若者をそういうことで失うことについては、非常に悲しみにもなっていくと思います。そういう点、見きわめた行動というんですか、そういうことが町としても必要ではないかと思うんです。その辺についてもう一度御答弁お願いしたいと思います。

それから、55ページのJアラートは、パソコンが要するに進化したと。そういうことに対する、変えたということであるんですね。だったら了解です。

それから、57ページなんですけども、賦課徴収費の中の役務費で預金口座残高確認手数料として2万円余りの金が出て、滞納者の方の口座を確認すると、そういうための費用なんだという、そういう答弁でしたよね。それで、これについては問題があれば、問題のある方については、それはきちんと本人がやっていかなきゃならないと思いますけども、こういう確認をしていくということで、実際はプライバシーの侵害になってくると。今度は、マイナンバーになってくると、これが常時起こってくるようなんですけども、こういうことが本当にいいんかどうか、そののところ、プライバシーとの関係からもう一度答弁をお願いしたいと思います。

○議長（小椋孝一君） しばらく休憩します。

休 憩

（午後 3時47分）

再 開

○議長（小椋孝一君） 休憩に引き続き会議を開きます。

（午後 3時47分）

○議長（小椋孝一君） 町長、寺本君。

○町長（寺本光嘉君） 美濃議員の質疑にお答えをいたしたいと思います。

41ページの時間外勤務手当からも職員の問題ですね。人は機械ではないと。それは、

おっしゃるとおりです。私も機械だとは思っておりません。そんな中で、やはり町といたしましては、合併後、定数適正化計画というのを立てまして、そして定数の削減を計画的にやっていると。そんな中で、今本当に職員は目いっぱい働いてくれています。フル回転してくれています。そんな状況はよく存じております。

しかしながら、やはり我々、町民の公僕でございますので、そうしたフル回転をしながら、この仕事をこなしていく、それが我々に課せられた責務でないかというふうに考えておりますので、今後ともそうした状況を見ながら取り組みを行ってまいりたい、そのように考えておるところでございます。

それと、先ほど防衛協会のまた話がございましたが、これにつきましては、予算化の段階ではございません。予算執行の状況でございますので、やはりこうした予算を適正に使っているということで、ひとつ御理解を賜りたい。

そして、町としてもっと見きわめた行動をとってほしいと、こういうたつての御要望でございましたんで、私は見きわめた状況の中で執行しているつもりでございますから、やはりいま一度反省をしながら取り組みを行ってまいりたい、そのように考えるところでございます。御理解を賜りたいと思います。以上です。

○議長（小椋孝一君） 税務課長、西岡君。

○税務課長（西岡秀育君） 美濃議員の再質疑にお答えをいたします。

先ほどの57ページ、2款2項2目12節、預貯金口座の件でございますが、税務職員には調査権がございます。調査権のもとに調査を行っておりますので、御理解を賜りたいと存じます。

○議長（小椋孝一君） 企画管財課長、中谷君。

○企画管財課長（中谷嘉夫君） 美濃良和議員の再質疑の49ページの役務費、自動車損害保険料の2万7,840円ですけれども、これは2年に1回の車検ということで、26年度計上しております。以上です。

○議長（小椋孝一君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） 先ほどのまちづくり、47ページですけれども、これで今、若者の定住ですか、14人の方が来て、こんだけの費用なんだということでありましたけれども、まちづくり支援補助金としてボランティアの方216万2,000円ですけれども、前回より少ないのはボランティアの方の数が足りなかったからというふうな答弁でしたかね。

このところ、ちょっとわからなかったですけども、もう3回目になってきましたんで、何にしても当然成果があったんじゃないかというふうに思うんですけども、もう一度このところでお聞かせいただきたいと思います。

前年のコミュニティ助成事業の助成金として250万円と過疎集落再生活活性化支援補助金というのは今回はその事業がなくなっているんですけども、それがこれに変わったのかも含めてお願いします。

今、税務課長から調査権があるから、口座の滞納者に限ってですけども口座確認ができるんだと、こういう答弁だったんですけど、やっぱりプライバシーというのは大事だと思うんですよ。非常にそれは難しいと思うんですけども、プライバシーの尊重というのは十分にやっていただくと、そういうことが必要かと思えますけども、もう一度お願いします。

○議長（小椋孝一君） 企画管財課長、中谷君。

○企画管財課長（中谷嘉夫君） 美濃議員の再々質疑にお答えいたします。

先ほどの26年度からやっていますまちづくり支援補助金の関係ですけども、実績として5団体ということです。団体名を言いますと、長谷宮の郷、それから、ふれあい広場、未来につなぐ虹の会、小川の郷づくり会、特定非営利活動法人生石山の大自然保存会の5団体でございます。

それから、コミュニティ事業ということで250万円、それは養津呂地区がテント等を買っております。それから、昨年25年度の過疎集落再生活活性化支援補助金につきましては、このまちづくり補助金とはまた別な補助金となっております。以上です。

○議長（小椋孝一君） 税務課長、西岡君。

○税務課長（西岡秀育君） 美濃議員の再々質疑にお答えをさせていただきます。

もちろんのこと、地方公務員は守秘義務が課せられておりますので、知り得た情報は限られた職員のみが持つものであります。担当職員と管理職がその情報を共有しておりますが、口外等そういうことはございませんので、御心配いただくことはないかと思えます。以上でございます。

○議長（小椋孝一君） しばらく休憩します。

休 憩

（午後 3時56分）

再 開

○議長（小椋孝一君） 休憩に引き続き会議を開きます。

（午後 3時56分）

○議長（小椋孝一君） 税務課長、西岡君。

○税務課長（西岡秀育君） 当然のことながら、滞納者全員を調べるというわけではございません。その中で当然のことながら、不納欠損処分であり、差し押さえ処分であり、全て財産を確認した上での処置になるかと思っておりますので、御理解を賜りたいと思います。以上です。

○議長（小椋孝一君） しばらく休憩します。

休 憩

（午後 3時57分）

再 開

○議長（小椋孝一君） 休憩に引き続き会議を開きます。

（午後 4時13分）

○議長（小椋孝一君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） これで歳出1款から2款について、質疑を終わります。

○議長（小椋孝一君） しばらく休憩します。

休 憩

（午後 4時16分）

再 開

○議長（小椋孝一君） 休憩に引き続き会議を開きます。

（午後 4時16分）

○議長（小椋孝一君） お諮りします。

議案審議の途中でありますけれども、まだ案件が残っており、本日中に終了できない見込みであります。よって本日の会議はこれで延会したいと思います。

御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小椋孝一君） 異議なしと認めます。

したがって、本日はこれで延会することに決定しました。

本日はこれで延会します。

（午後 4時17分）